

配付資料一覧

資料	資 料 名	備考
1	次 第	
2	出席者名簿	
3	席次表	
4	鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会設置要綱	
5	資料－1 鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会説明資料	
6	資料－2 赤川総合水系環境整備事業 事業再評価の結果報告について	
7	資料－3 整備内容、利活用、維持管理について	
8	参考資料 鶴岡市赤川かわまちづくりワークショップ意見一覧	

# 第2回鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会

---

■日 時：令和2年2月19日(水) 9:30～

■場 所：鶴岡市役所別棟2号館21.22.23会議室

## 次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 委員紹介

4. 報告・協議

(1) これまでの経過報告

(2) 整備内容の確認について

(3) 利活用、維持管理について

(4) 今後のスケジュールについて

5. その他

6. 閉 会

## 第2回鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 出席者名簿

令和2年2月19日（水） 9：30～  
市役所別棟2号棟21. 22. 23会議室

### 《委員》

氏名	役職	出欠	備考
1 渡邊 一哉	山形大学農学部 准教授	○	会長
2 水野 重紀	水野野生生物調査室 主宰	欠席	
3 石原 純一	鶴岡商工会議所 観光部会副会長 鶴岡桜の会会長、鶴岡観光協会会長、荘内神社宮司	欠席	
4 黒井 晃	赤川漁業協同組合 代表理事組合長	○	
5 山田 鉄哉	赤川鮭漁業生産組合 組合長理事	○	
6 佐々木 邦夫	第五学区コミュニティ振興会 副会長 朝陽町町内会 会長	○	
7 佐藤 しおり	朝陽第五小学校PTA 前代表 鶴岡フィットネス協会会長	○	
8 渡邊 真理	育児サークルおもちゃ箱 前リーダー 鶴岡市すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員	欠席	
9 佐藤 友介	赤川花火大会実行委員会役員	○	
10 佐藤 利浩	NPO法人鶴岡市体育協会 理事	○	
11 阿蘇 裕矢	東北公益文科大学 非常勤講師 NPO法人公益のふるさと創り鶴岡 理事	○	
12 渡辺 理絵	山形大学農学部 准教授	○	
13 浅賀 大輝	大半田町内会代表 株式会社浅賀建設 取締役統括部長	○	
14 田村 昭	羽黒区長会副会長 広瀬地区区長会会長、押口地区区長	欠席	
15 小林 幸一	楡引区長会会長、丸岡区長	欠席	
16 菅原 元	馬渡区長	○	
17 中村 哲也	鶴岡まちづくり塾 前メンバー	○	
18 菅原 武士	山形県建設業協会鶴岡支部青年部長 有賀建設㈱ 専務取締役	欠席	
19 土田 一彦	日本造園建設業協会山形県支部副支部長 ㈱土田造園 代表取締役	○	

### 《アドバイザー》

1 佐藤 俊明	国土交通省酒田河川国道事務所 副所長	○	
---------	--------------------	---	--

### <国土交通省出席者>

1 加賀谷 均	国土交通省酒田河川国道事務所 工務第一課長	○	
2 熊谷 洋一	国土交通省酒田河川国道事務所 河川管理課長	○	
3 布川 貴幸	国土交通省酒田河川国道事務所 赤川出張所長	○	
4 岡崎 正秀	国土交通省酒田河川国道事務所 工務第一課専門官	○	

### <鶴岡市出席者>

1 増田 亨	建設部長	○	
2 穂積 薫	建設部参事	○	
3 岡部 信宏	建設部都市計画課長	○	
4 伊藤 慶也	市民部環境課長	○	
5 本間 明	農林水産部参事兼農山漁村振興課長	代理	水産振興主幹 本間 裕
6 阿部 知弘	商工観光部観光物産課長	代理	主査 大宮 将義
7 齋藤 匠	教育委員会スポーツ課長	代理	課長補佐 伊藤 晋
8 成田 譲	藤島庁舎産業建設課長兼エコタウン室長	代理	産業建設専門員 齋藤 茂樹
9 佐藤 守	羽黒庁舎産業建設課長	○	
10 高橋 修也	楡引庁舎産業建設課長	○	
11 本間 仁	建設部都市計画課公園緑地係長	○	
12 伊藤 健	建設部都市計画課公園緑地係主任	○	
13 荒木 正行	建設部都市計画課公園緑地係主任	○	

### (コンサル)

1 佐藤 義治	㈱三協技術	○	
2 森澤 芳文	㈱三協技術	○	
3 木野田 葵	㈱三協技術	○	

# 第2回 鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 席次表(敬称略)

R2. 2. 19(水) 鶴岡市役所別棟2号棟21. 22. 23会議室

出入口

出入口

出入口

スクリーン

スクリーン

会 長

山形大学農学部  
准教授  
渡邊 一哉

赤川漁業協同組合  
代表理事組合長  
黒井 晃

赤川鮭漁業生産組合  
組合長理事  
山田 鉄哉

第五学区コミュニティ振興会  
副会長  
佐々木 邦夫

朝陽第五小学校  
前PTA代表  
佐藤 しおり

育児サークルおもちゃ箱  
前リーダー  
渡邊 真理

赤川花火大会実行委員会  
役員  
佐藤 友介

NPO法人鶴岡市体育協会  
理事  
佐藤 利浩

東北公益文化大学  
非常勤講師  
阿蘇 裕矢

山形大学農学部  
准教授  
渡辺 理絵

大半田町内会  
代表  
浅賀 大輝

馬渡地区  
区長  
菅原 元

鶴岡まちづくり塾  
前メンバー  
中村 哲也

日本造園建設業協会山形県支部  
副支部長  
土田 一彦

アドバイザー  
国土交通省  
酒田河川国道事務所  
副所長 佐藤 俊明

国土交通省  
酒田河川国道事務所  
赤川出張所長

国土交通省  
酒田河川国道事務所  
河川管理課長

国土交通省  
酒田河川国道事務所  
工務第一課長

国土交通省  
酒田河川国道事務所  
工務第一課専門官

公園緑地係主任  
都市計画課長  
建設部長  
建設部参事  
公園緑地係長  
公園緑地係主任

産業引建庁舎課  
産羽黒庁舎課  
産藤島建庁舎課  
スポーツ課  
観光物産課  
農山漁村振興課  
環境課

傍聴席

傍聴席

(株)三協技術  
(株)三協技術  
(株)三協技術

## 鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会設置要綱

### (設置)

第1条 鶴岡市赤川かわまちづくり計画を推進し、そのために必要な事項を、各分野の主体が協議調整し、また施策の評価と必要に応じて計画の見直し等を行うことを目的に、鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

### (所掌事項)

第2条 協議会は次の事項を協議調整する。

- (1) 鶴岡市赤川かわまちづくりの推進に係る具体的な施策とその実現方策に関する事。
- (2) 施策の実施状況の評価、計画の点検及び見直しに関する事。
- (3) その他、鶴岡市赤川かわまちづくりの推進に関する事。

### (組織)

第3条 協議会は、委員21名以内をもって組織する。

2 協議会の委員は、次の各号に掲げる者の内から市長が委嘱する。

- (1) 有識者
- (2) 関係団体等の代表者又は役員
- (3) 公募
- (4) 前号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

3 協議会には、会長1名を置く。

4 会長は、委員の互選により選出し、協議会を代表する。

5 会長が不在となるとき、あるいは事故のときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する

### (任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。また途中の退会又は新たな入会は協議会の会議に諮るものとする。

### (協議会)

第5条 協議会は、会長が招集し、協議会の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。

3 協議会は、委員のほかにアドバイザーを置くことができる。

4 会長は、必要に応じ、アドバイザーに対し会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

5 会長は、必要があると認めるときは、委員及びアドバイザー以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

### (庶務)

第6条 協議会の庶務は、建設部都市計画課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は会長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和元年5月7日から施行する。
- 2 この要綱は、協議会の目的達成をもって廃止する。

# 第2回 鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 説明資料

日時：令和2年2月19日(水) 9:30～

場所：鶴岡市役所別棟2号棟21. 22. 23会議室

# 1. これまでの経過報告

## 1. 「かわまちづくり」と「かわまちづくり支援制度」とは

- ①「かわまちづくり」…河川空間とまちの空間の融合が図られた良好な空間形成を目指す取り組み。
- ②「かわまちづくり支援制度」…地域の景観、歴史、文化及び観光という「資源」や「知恵」を活かし、地域との連携の下で立案された実現性の高い「かわまちづくり」を円滑に推進するための仕組みであり、H31.3月に「鶴岡市赤川かわまちづくり計画」が登録認定されている。



散策路(山形県長井市 最上川)



多目的広場(福島県湯川村 阿賀川)

## 2. 「鶴岡市赤川かわまちづくり事業」の背景と目的

- 鶴岡市を流れる赤川の河川敷は、赤川河川緑地や赤川市民ゴルフ場、楡引総合運動公園などが整備されており、幅広い方々が多種多様なスポーツやレクリエーションを楽しむ場として活用されている。また、赤川河川緑地では「赤川花火大会」が毎年8月に開催され、県内外から多くの観光客が訪れる。
- 一方、その利用形態は、花火大会等の大規模イベントを除くと特定のスポーツ団体の利用がほとんどであり、休憩ポイントや水辺に安全に近づけないことにより子供や親子連れの利用は少なく、また、集客に向けた赤川の情報発信不足など水辺環境を十分に活かしてきれていない面がある。
- かわまちづくりにより子供から高齢者まで幅広い世代が集う新たな水辺空間を創出するとともに、鶴岡市街とのネットワークを構築し、観光客を赤川沿いに誘導することで、日常的に人で賑わう空間形成を図る。



小学生のサッカー大会  
(赤川河川緑地)



赤川花火大会  
(赤川河川緑地)



グループによる芋煮会  
(楡引総合運動公園)

## 4. 「鶴岡市赤川かわまちづくり事業」の実施により期待される効果 (日常的に人で賑わう空間づくり)

- 河畔整備(樹木伐採等)を行うことで川の見える景観を形成し、河川敷に管理用通路(散策路)を整備することで川を見ながら散歩することができる。
- 川際に親水護岸を整備することで、子供たちが安心して水辺に近づくことができ、また、水辺空間を活用したイベントの開催等が可能となり水辺が賑わう。
- 堤防坂路(スロープ)の整備や階段工(堤防階段)の新設・拡幅によって、堤防から広場等へのアクセスが容易になります。また、階段を観覧席としてスポーツ観戦や花火大会を楽しむことができる。
- 堤防の管理用通路に距離表示の案内板を整備することで、地域住民はウォーキング、ジョギング、サイクリングコースとして日常的に利用できる。また、マラソンや駅伝のコースとして利用することで、マラソン・ジョギング愛好者が集う場所となり、賑わいのあるまちづくりに繋がる。
- レンタサイクルポートを整備することで、レンタサイクルの利用促進を図り、かわまちづくり実施区間の周遊だけでなく、周辺観光施設も取り込んだ新たなサイクリングコースが設定でき、かわとまちなかの回遊性が向上し、観光客の利用も促進される。

	河畔整備(樹木伐採等)	管理用通路(河川敷の散策路)	親水護岸	階段工(堤防階段)
事業前				
	川の見える景観が形成	川沿いを散歩することができる	川遊びやイベント等を楽しめる	スポーツや花火大会が観覧できる
事業後				
	整備イメージ	整備イメージ	整備イメージ	整備イメージ

## 3. 鶴岡市赤川かわまちづくり事業の計画箇所

- 計画箇所は、赤川の鶴岡市内の羽越本線の下流側にある「鮭採捕場」(下流側)～王祇橋(上流側)までの左右岸、約8.4kmで計画している。







# 1. これまでの経過報告

今年度は、以下のスケジュールでかわまちづくりの具体化を進めてきた。

平成31年3月8日	鶴岡市赤川かわまちづくり計画が支援制度に登録認定
令和元年5月28日	<p>第1回鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会開催 設置目的 かわまちづくり計画を推進し、そのために必要な整備の構造形式、素材、施設整備後の利活用や維持管理についての体制等の各事項を<b>具体化</b>するため、各分野の主体が協議調整し、また施策の評価と必要に応じて計画の<b>見直し</b>等を行う。</p> <p>開催概要 ・これまでの経緯と「かわまちづくり計画」の内容の確認 ・今後の進め方の説明・協議 ⇒今年度は「<b>利活用、維持管理体制の方向性</b>」をまとめる</p>
令和元年年6月29日	<p>第1回赤川かわまちづくりワークショップ(参加者:24名) ・現地視察 ・意見交換(整備項目の課題、利活用、維持管理など)</p>
令和元年9月24日	<p>第2回赤川かわまちづくりワークショップ(参加者:19名) ・第1回WS意見を踏まえた整備項目への意見聴取 ・利活用、維持管理の実施プランの意見交換</p>
令和元年10月26日	<p>第3回赤川かわまちづくりワークショップ(参加者:18名) ・利活用、イベントスケジュールの意見交換 ・維持管理体制の意見交換</p>
令和2年2月19日	<p>第2回鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 ①<b>整備内容の確認</b> ②<b>利活用、維持管理体制の方向性の協議</b> ③<b>今後の進め方の協議</b></p>



第1回推進協議会(5.28)



第1回ワークショップ(6.29)



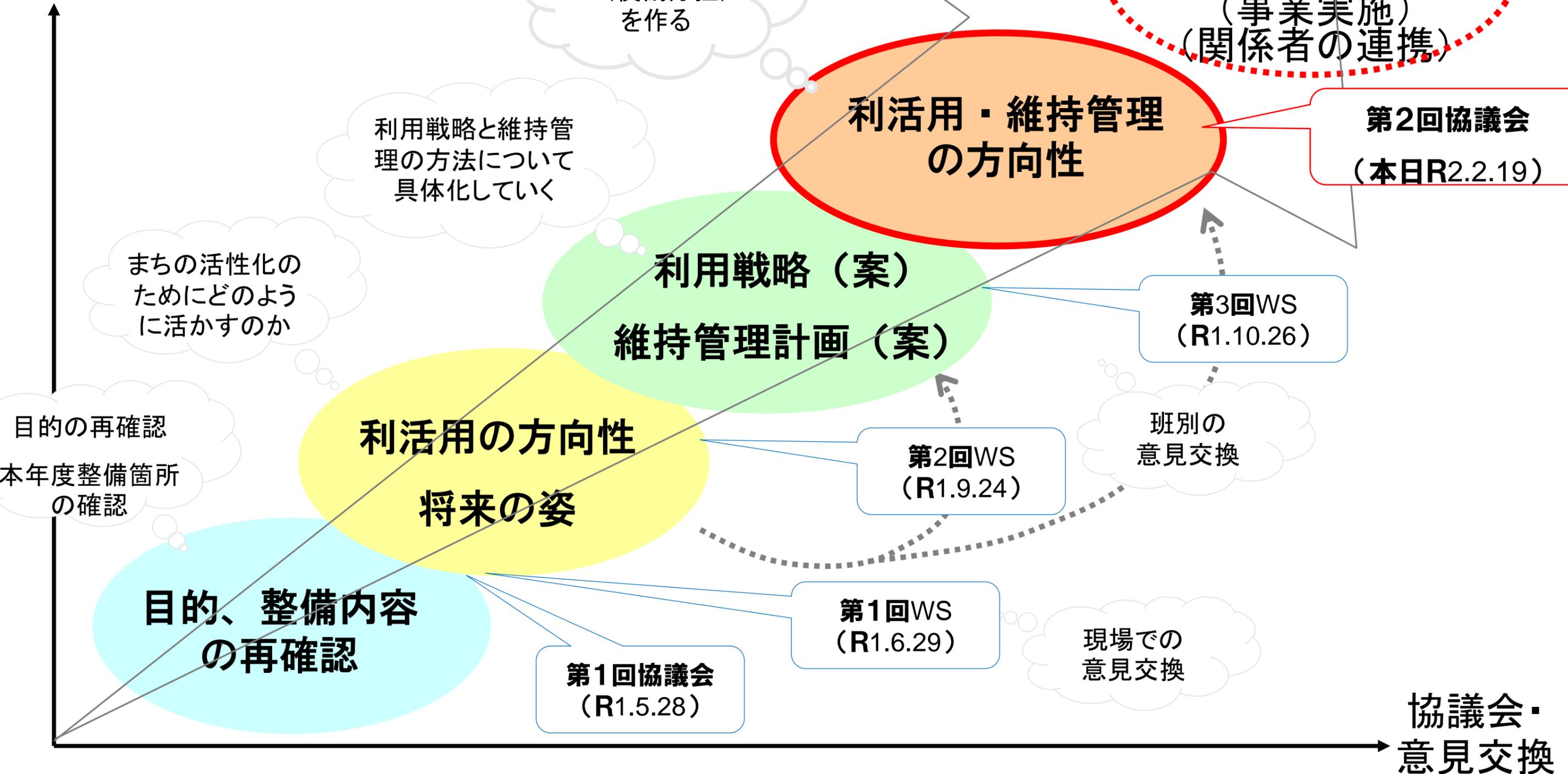
左記のほか、**山大学生とのワークショップを開催**。(6月～7月)  
提案された意見を踏まえ、具体化を進めた。  
また、**櫛引区長会(7.28開催)**においてもかわまちづくりの説明を行い、**事業の周知**に努めた。

# 1. これまでの経過報告

## 【本年度の進め方】

- 整備後の利活用や維持管理に向けて、市民と協働のもと段階的に進めていく。

共通認識・一体化  
かわまちの熟度(活性化)



# 1. これまでの経過報告

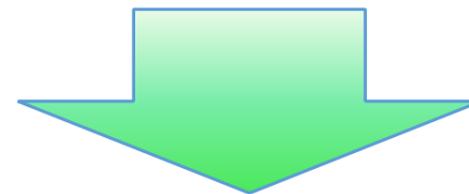
## ■各ワークショップの報告

### (1) 第1回ワークショップ(R1.6.29)

第1回ワークショップでは、参加者で実際に現地を見て現状を把握し、提示された整備項目案についての課題や解決策、代替え案などの意見交換を行った。

#### 《主な意見》

工種	意見
①園路	・車両の進入があると危険 ・車止めの設置が必要
②駐車場	・多目的な使用ができる整備(臨時イベント会場等)
③看板	・施設ごとに配置 ・利用上の注意喚起 ・川への誘導看板
④四阿、ベンチ	・利便性を高めるテント、ベンチの貸し出し
⑤遊具	・幅広い世代で使用できる遊具の設置
⑥レンタサイクルポート	・利用距離(移動限度距離)の析出 ・子供用の配置
⑦河畔整備	・手付かずの自然も残す
⑧親水護岸	・イベント利用 ・流れが緩やかな箇所に設置 ・注意喚起看板の設置
⑨桜ハウス	・施設改修 ・赤川の拠点施設(管理人)



○あらかじめ多目的利用を想定した施設整備が必要である。  
○安全対策(ハード、ソフト両面)の強化。

# 1. これまでの経過報告

## ■各ワークショップの報告

### (2)第2回ワークショップ(R1.9.24)

第2回ワークショップでは、これまでの意見を踏まえた整備項目について意見聴取し、内容を共有したうえで、利活用方策と維持管理の意識啓発を図るため、それぞれのアクションプランについて意見交換を行った。

※アクションプラン=5W1Hの視点(いつ、どこで、だれが、なにを、どうやって …やれば良いのか)

#### 《整備項目修正案への意見聴取(質疑応答)》

○全体を通して、「**安全面**」に対する声が多くみられた。(川に近づく際の安全対策、園路の歩車道分離など)  
⇒注意喚起看板等の**ソフト施策を基本**として進めていく。

#### 《利活用、イベントについて》

○全体を通して、「**桜**」「**水辺**」「**冬期間**」の利用にかかる意見が多く見受けられた。

##### 主な意見

- 堤防の利用 ⇒桜の種類を増やす、桜のライトアップ
- 河川の利用 ⇒釣り、生物調査、川全域で水遊びが可能になれば…
- 高水敷の利用⇒冬まつり、スキー

#### 《維持管理体制について》

○ボランティア活動に対する「**メリットが必要**」との声が多く見受けられた。

##### 主な意見

- 維持管理に家族で取り組めるようなイベントの仕掛けづくりが必要⇒ポイントがたまるようにしてはどうか
- ボランティアポイントの導入

##### 〈ポイントメリット例〉

- 「野球チームには野球のボール」等、関連する道具の提供
- 花火大会の無料観覧エリアの優先取得

# 1. これまでの経過報告

## ■各ワークショップの報告

### (3) 第3回ワークショップ(R1.10.26)

第3回ワークショップでは、これまでに提案された「利活用・イベント」及び「維持管理体制」のアイデアを提示し、実現できそうなイベントや維持管理体制についてランク付をし、その評価を行った。

#### 《利活用・イベント》

順位	場所	月	イベント案	得点	考察
1	河川敷、堤防	4	赤川桜まつり	50	・「桜のライトアップ」など、既存の資源に更なる魅力を与えるためにはどうすべきかにポイントが置かれた意見が多く見受けられた。
2	河川敷	11	芋煮会	34	・来訪者を増やすための方策として、「案内看板の設置」、事業化した「『食』のイベントで人を呼び込む」が挙げられた。
3	河川敷	7~8	サマ-キャンプ、グランピング	20	・「子供と遊べる」「手ぶらで来て楽しめる」が見受けられた。
4	桜ハウス	通年	バーベキューセット、キャンプ用品の貸出	17	・「子供連れには助かる」「セット貸出は魅力的」と、購入せずとも楽しめる手軽さが受け入れられたように見受けられた。
5	河川敷	6、10	ミニマラソン大会	12	・意見傾向は「子供たちと走りたい」また、さらなる集客のために「ゲストランナーを呼び、マスコミ取材を受ける」意見もあった。



・全体的に、利活用・イベントスケジュールにおいては、「親子で参加可能」であることが評価を得た傾向のよう  
見受けられた。  
・整備後に想定されるイベントについて、多くの人に利用してもらうために、SNS等を利用した**広報活動も必要**  
である。

# 1. これまでの経過報告

## ■各ワークショップの報告

### 《維持管理体制》

順位	内容	月	イベント案	得点	考察
1	環境保全	通年	ボランティアポイント	32	・「有償ボランティア」を前提としており、その原資として「市民募金」などがあつた。 ・ポイントの活用方法は、「赤川花火大会の無料観覧エリアの優先取得」のほか「地元商店街の割引券」、「部活動等の道具の提供」の意見が見受けられた。
2	除草、清掃	3、4	スポーツゴミ拾い大会	30	・清掃に限定する場合の維持管理体制として支持を得たと思われる。なお、鶴岡市内では、令和元年9月29日に小真木原総合体育館を会場として開催された。(環境フェアつるおか)
3	環境保全	通年	区画ごとの草刈り等	15	・大掛かりな準備の不要さ、作業区域の明確さ、所要時間の短さ等から支持を得たと思われる。
4	伐採	10～11	チェーンソー体験会	12	・道具を「のこぎり、斧等」に広げる意見も見受けられた。また、使用木材を「芋煮の薪にしてはどうか」という意見があり、他のイベントと関連する意見も見受けられた。
4	桜	通年	桜のオーナー制度	12	・記念植樹としての需要が見込まれ、「オーナーになった人は見に来る」などの意見が挙げられた。一方で、「記念植樹の場合、生長時の間引きにどのように対応するか」という課題も挙げられている。



・全体として、『対価』を求める有償ボランティアや『達成感や爽快感』を求めるスポーツゴミ拾い及び草刈りなどが評価を得た傾向のように見受けられた。利活用とあわせて進めることが有効と考えられる。

・その他に、整備内容への意見として、「球技会場に観覧席があれば」など、現在計画している施設(この場合は階段)に対する声もあり、利用者(参加者)にその内容が認知されていない部分も見受けられた。

# 1. これまでの経過報告

## ■赤川の水辺空間を活用した社会実験

### □趣旨

赤川かわまちづくり計画では、賑わいづくりを一つのテーマとしているが、民間企業の参入可能区域を事前に提示し、当該エリアにおいて、実施期間を定め、営利活動等を行う民間事業者を公募し、**市民ニーズや営業活動の実態を把握**し、今後進める赤川かわまちづくりや水辺における**賑わいづくりでの利活用の在り方を検証**するため社会実験を行ったもの。

### □実験期間及びエリア

期間 H31.4月～R1.11月

①赤川河川緑地 ②櫛引総合運動公園 ③櫛引やすらぎ公園

### □事業者活動内容

- 参画事業者 4事業者
- 移動販売車及びテントによる飲食提供

### □課題

- 社会実験活動での**集客数がわかりにくい**。
- 活動日が**不定期**なことから、**周知等が困難**。

### □取り組み

- チラシ**の作成
- かわまちづくり推進協議会**FB**の開設
- 山形大学農学部と連携した、**アンケート調査**

□チラシ作成(市役所、地域庁舎、櫛引スポーツセンター、山形大学農学部)に設置)

FBページ⇒

活動状況



学生によるアンケート調査



# 1. これまでの経過報告

## ■ 社会実験の事業者実施報告書の考察

### (1) 活動状況

事業者毎の活動状況は表1のようになった。

表1. 事業者毎の活動状況

事業者 (販売物)	A店 (コーヒー)			B店 (クレープ等)			C店 (和菓子、かき氷等)			D店 (串焼き、ソフトドリンク等)		
活動場所	赤川河川緑地			赤川河川緑地			櫛引総合運動公園、櫛引やすらぎ公園			赤川河川緑地		
活動状況	活動日	時間	来客数	活動日	時間	来客数	活動日	時間	来客数	活動日	時間	来客数
		9/18(水)	15:00~18:00	2	7/9(火)	15:00~18:00	2	4/15(月)	9:30~16:30	80人 /日	7/27(土)	3時間
	9/19(木)	15:00~18:00	5	7/10(水)	15:00~18:00	5	~	9/27(金)			2時間	
	10/2(水)	15:00~17:00	2	7/27(土)	16:30~20:00	30	4/25(木)	10:30~15:00	10人 /日	10/15(火)	2時間	0
	10/3(木)	15:00~17:00	0	ソニ-夏祭り			9/21(土)					
				9/17(火)	15:00~18:00	4	~					
				9/18(水)	15:00~18:00	8	10/14					
				9/25(水)	15:00~18:00	9	(月祝)					
				10/15(火)	15:00~17:00	2						

凡例：  
 複数店舗同日出店日  
 イベント開催日

延べ41日、来客数1,200人※櫛引除いた場合(延べ14日、来客数170人)

- ① 出店は平日午後が多かった。
- ② 出店時間は2~3時間が多かった。
- ③ 各店舗とも、1日当たり来客数は1桁が多かった。
- ④ イベント開催日の土曜は、来客数が極端に増加した。
- ⑤ 悪天候による出店中止時は、**赤川かわまちづくり推進協議会Facebook**で告知した。

### ○ 考察

・ 移動販売車非活動日における園路通行者の通行目的は ① ジョギング・ウォーキング ② 散歩 (ペット同伴を含む) ③ 自転車走行ルートの一部が大きな割合を占めているように思われる。 **移動販売車の利用を目的としていない人を川に誘導し来客数につなげることが必要である。**

# 1. これまでの経過報告

## (2) 取り組み実施における課題に対する意見

- ①採算性は低かった ②景色が良く空気も良いのだがアクセスが悪い
- ③イベントと連携し集客につなげたい ④顧客の駐車場が不明、遠い
- ⑤ジョギング利用の河川緑地利用者とは目的が異なり、集客につながらない

### ○考察

- ・採算性を上げるためイベント時の出店を求める声があった。赤川河川緑地の特長として、週末のスポーツ大会利用が多いことが挙げられる。**週末の来客数を比較検討**し、行政と事業者の両者にプラスになるよう取り組みが必要と考えられる。

## (3) 取り組み実施による効果に対する意見

- ①実験の認知度が低い
- ②「赤川河川敷に居たよね」と声かけされ認知度アップを感じた事業者もあった
- ③取り組みの姿勢自体は大変良いので、続けて何かを企画してほしい

### ○考察

- ・**認知度の向上**を目指すため、各事業者のフェイスブック等でも赤川河川緑地にて営業の旨を事前告知及び掲載してもらうなど、**事業者側との連携**が必要。また、複数店同時出店の時は、可能であれば近くに出店し、一方の店舗の利用客に他方についても認識してもらえれば、認知度が上昇すると推察される。

# 1. これまでの経過報告

## (4) 今後の方向性に対する意見

- ①次年度の出店希望については、4事業者中2事業者が「検討中」、2事業者が「有」だった
- ②他店との同時出店については、4事業者とも「有」であったが、同業者や集客と見合った店舗を要望している

### ○考察

- ・日常的な園路通行者を顧客にするためには、「わざわざ出かけずとも、足を止めれば日常のルートで買える」意識づけが必要と思われ、**事業の継続性と周知**が求められる。
- ・互いの事業者が同時出店を希望する場合、日程を調整して出店することも検討。

## (5) 社会実験に対する要望や今後の赤川での営業活動等へ意見

### <要望>

- ①顧客に近い、駐車場付近への出店 ②顧客への分かりやすい駐車場案内
- ③まとまりのある多数合同出店 ③ハード面ソフト面ともに行政の応援

### <展望イメージ>

- ①定期性のある計画的な出店 ②コアとなる常設出店期間とその前後の不定期出店期間とを設ける

### ○考察

- ・店舗への来店を目的にした赤川河川緑地来訪者は、駐車場利用が多いように見受けられるが、初めての方でも分かりやすいよう、**整備時には案内看板設置が重要**と考えられる。
- ・「毎月第●週▲曜日には出店している」等**ルール**があれば、固定客が付きやすいと推察される。

# 1. これまでの経過報告

## ■ 社会実験利用者アンケートによる評価

- 山形大学より協力いただき、赤川かわまちづくり並びに社会実験を研究対象とした赤川河川敷という空間の価値を評価する利用者アンケートを実施していただいた。

### 《研究目的》

赤川河川敷という空間の価値を評価する方法として、市民の赤川河川敷への愛着すなわちロイヤリティ(1)という見方から測定する。



調査結果から、NPS(2)と顧客満足度での結果の違いを比較(ロイヤリティと顧客満足度に相関は見られない)し、それぞれの結果にどのような違いが出るのか分析していく。



赤川という空間のロイヤリティを増加させるにはどういった点を見ていくべきかを明らかにしたい

#### (1)ロイヤリティ

…顧客がブランドや商品、またはサービスに対して感じる信頼や愛着のこと。

#### (2)NPS

…ネットプロモータースコアの略であり、日本語では推奨者正味比率と表記される。  
人に薦める行為、すなわち推奨という度合いでロイヤリティを図ること。

# 1. これまでの経過報告

## ■ 社会実験利用者アンケートによる評価(ロイヤリティの測定)

### ○ 評価の方法(NPS)

➤ 0～10点で表すとして、企業・製品・サービス・ブランドに対して友人や同僚に**薦める可能性**はどのくらいあるかという質問をする



➤ それに続いてそのスコアをつけた理由を聞く



➤ 回答の点数に応じて顧客を推奨者・中立者・批判者の3つのグループに分ける。



➤ 推奨者の**薦めたい理由が成長**に、批判者の**批判する理由が課題**になると分析。

### ○ 調査概要

期間: 2019年9月12日～11月末 回収数: 24

#### 質問項目

・ 5段階評価での**満足度**(顧客満足度)

( ・ 価格・接客・味・商品の見た目・店舗の外観・提供までの時間・移動販売車の場所  
・ 赤川の河川敷で移動販売車があることについて・移動販売車の飲食物のバリエーション )

・ **移動販売ありとなし**の場合で、0～10点で**薦めたい度合い**を聞く(NPS)

・ 再利用の意思

・ 赤川河川敷の利用状況

・ 属性(性別・年齢・居住地)、赤川に関する事についての自由記述

# 1. これまでの経過報告

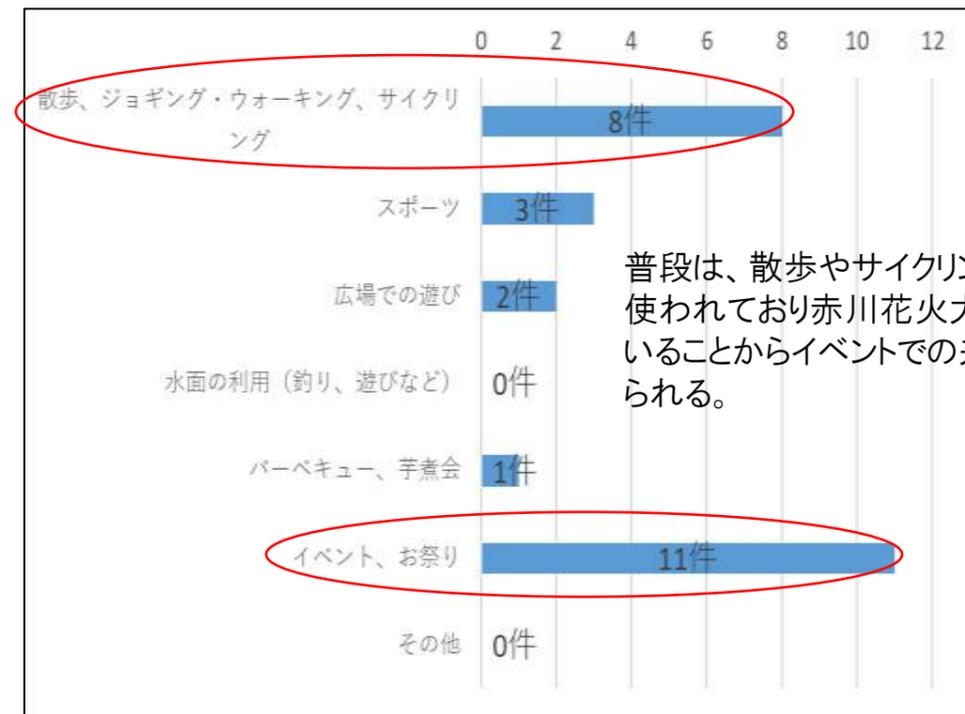
## □調査結果（提供：山形大学農学部）

1. アンケート調査日の赤川来訪目的  
（単数回答）

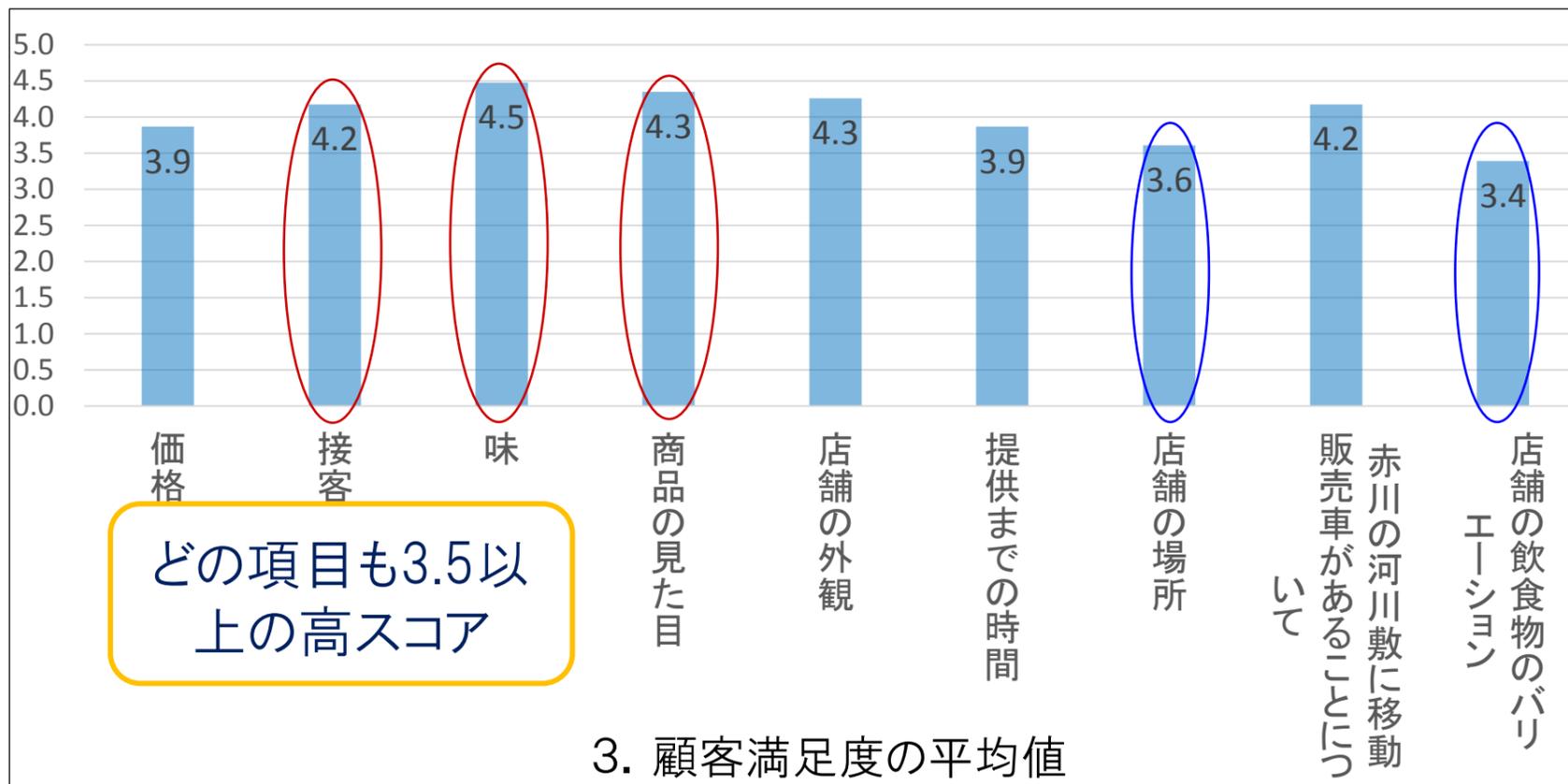


調査日の来訪目的は社会実験の利用者が多い。

2. アンケート調査日の目的とは他の赤川来訪目的（複数回答）

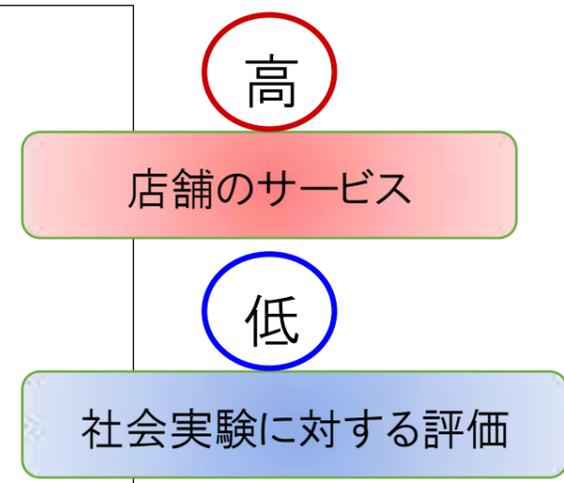


普段は、散歩やサイクリングなどのコースとして使われており赤川花火大会等の場所となっていることからイベントでの来訪が多いと考えられる。



どの項目も3.5以上の高スコア

3. 顧客満足度の平均値

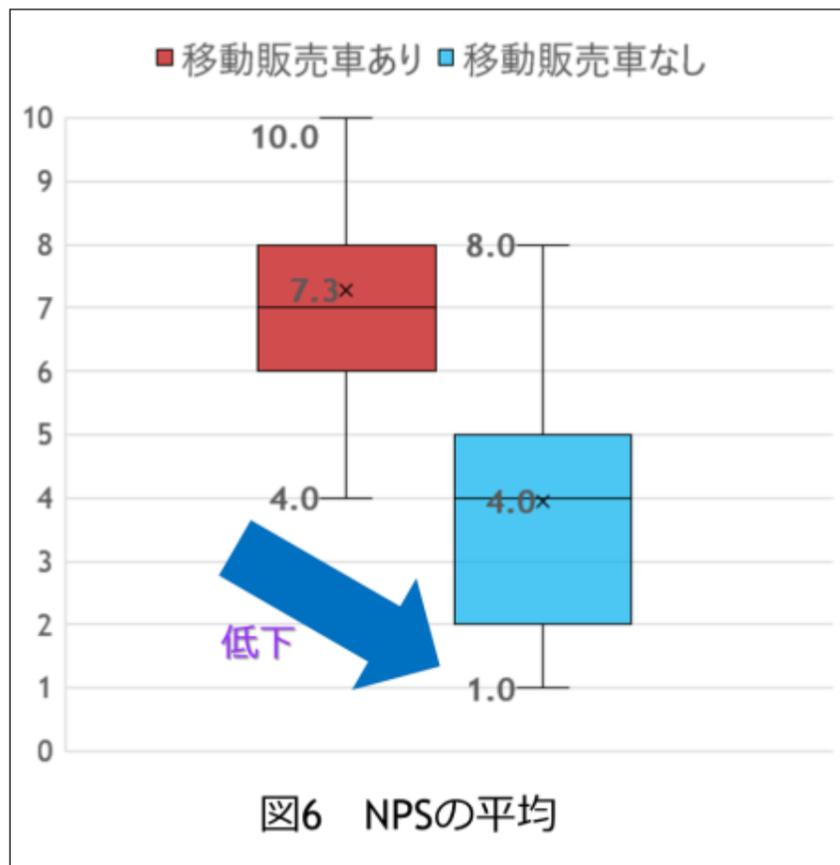


接客・味・商品の見た目という店舗のサービスに対する満足度は高い。一方、店舗の場所や店舗の飲食物のバリエーションという社会実験に対する評価は低い。

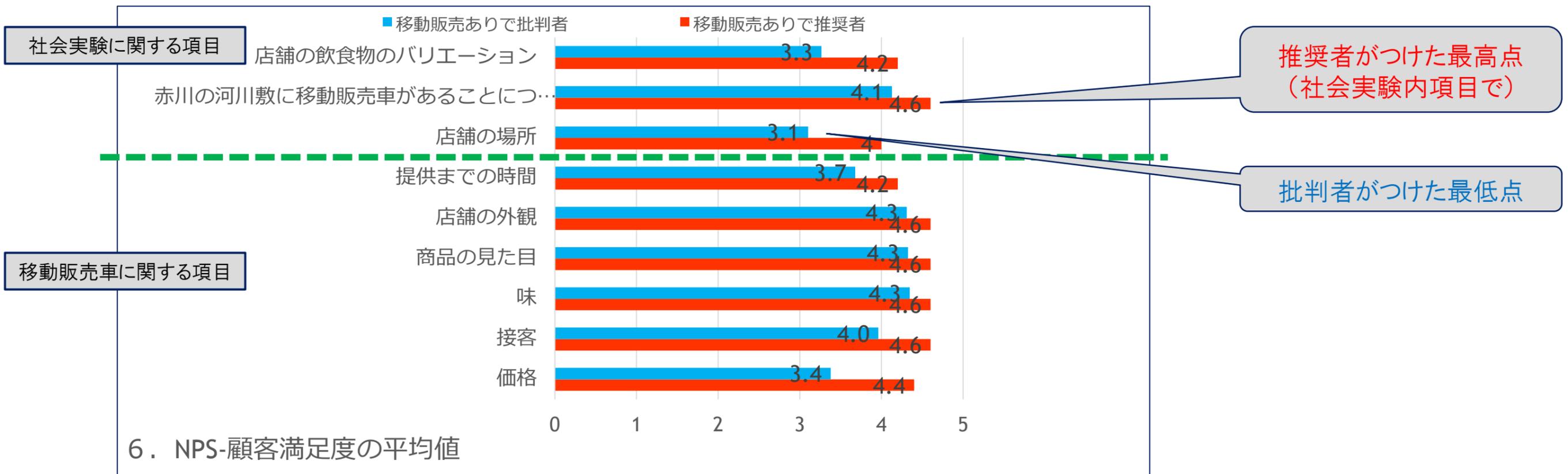
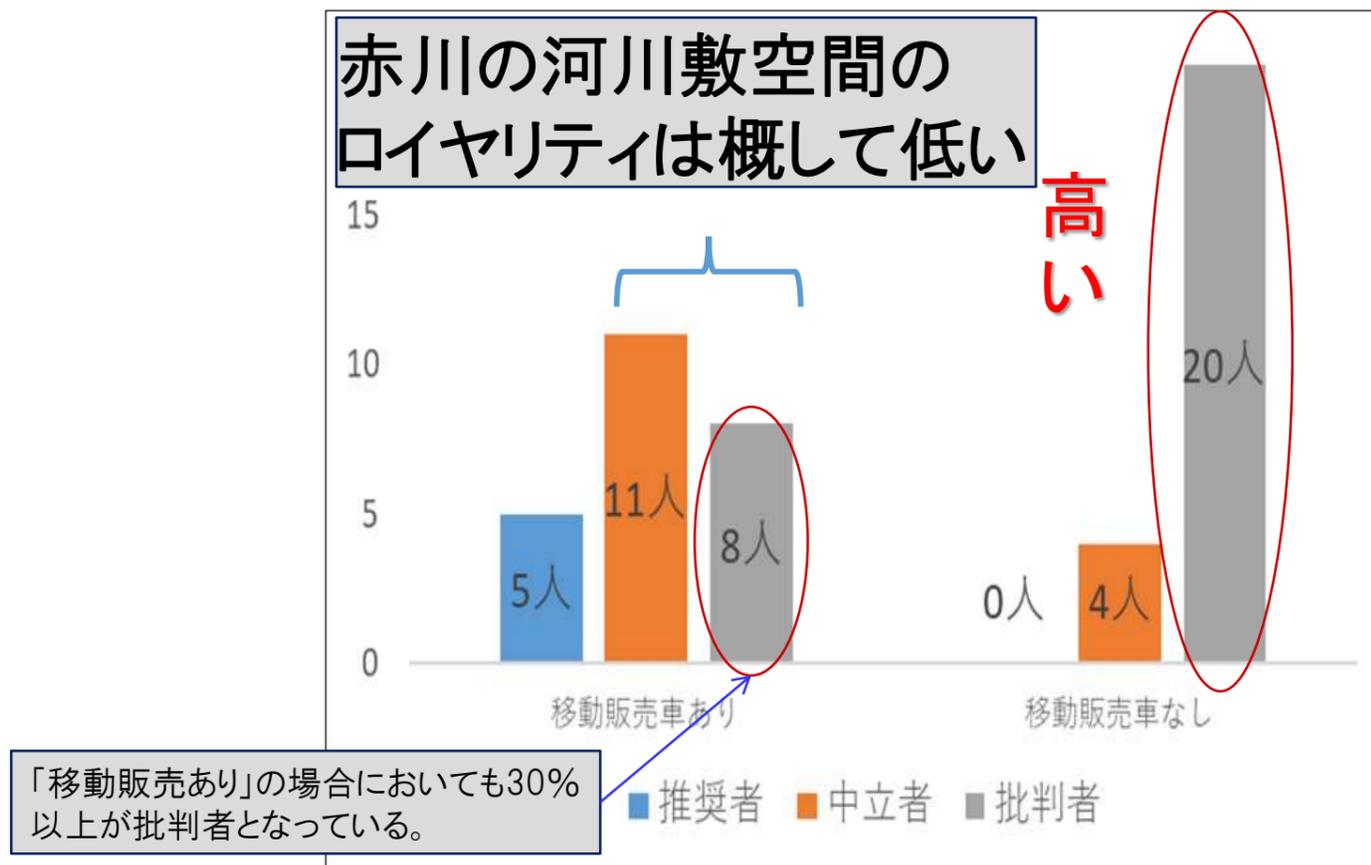
# 1. これまでの経過報告

□ 調査結果 (提供: 山形大学農学部)

## 4. NPS(お薦め度)の平均



## 5. NPSの分類別人数内訳



# 1. これまでの経過報告

□調査結果（提供：山形大学農学部）

●考察

NPS

空間の居心地の良さと飲食のサービスという点がこれからの成長の要因になっていくと考えられ、移動販売のみが目的になってしまっている点が課題

顧客満足度

店舗のサービスに対する満足度は高いが、赤川河川敷き空間に対する評価は低い



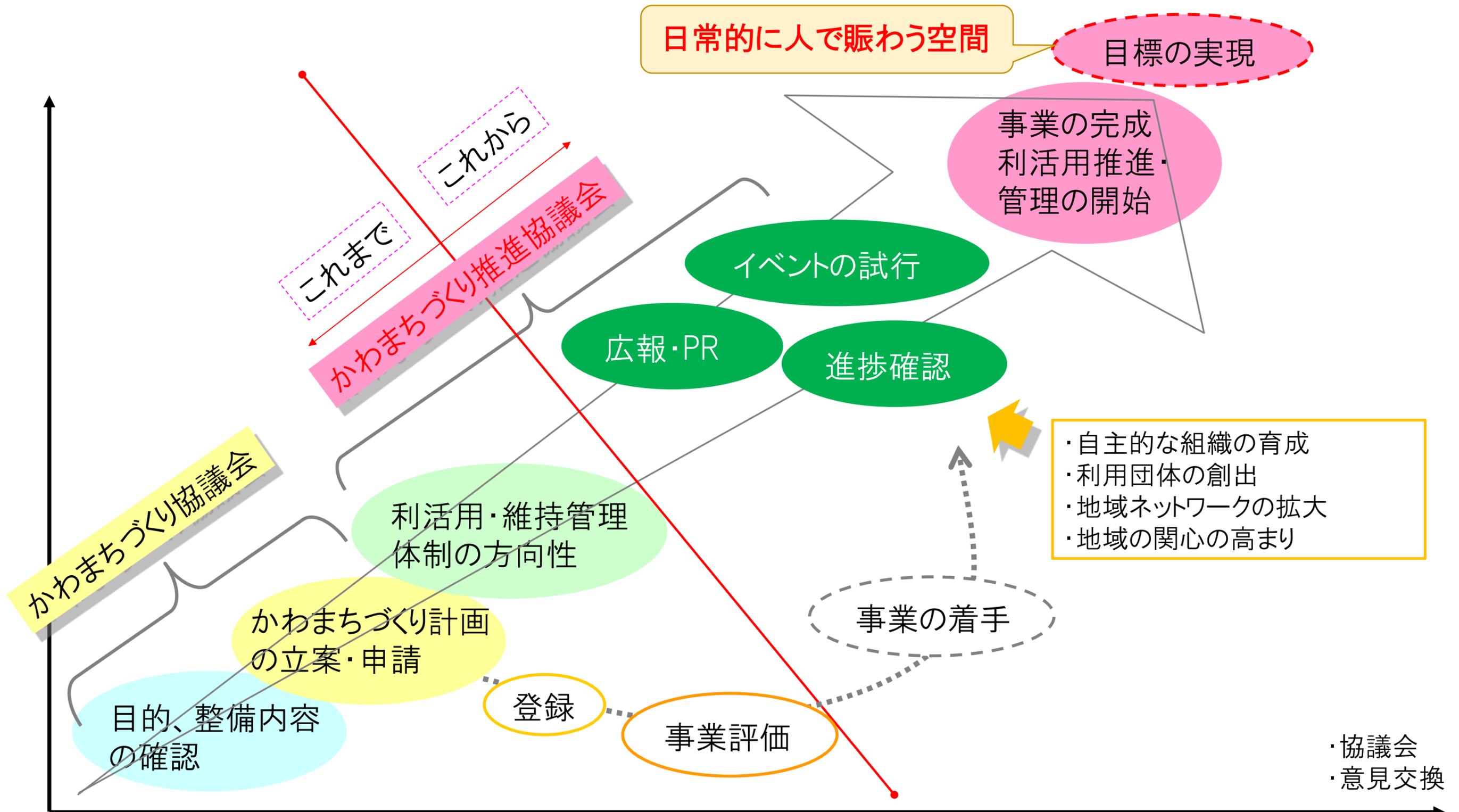
P16の3.満足度平均ではあまり開きが見えず、満足度という指標は不十分であると考え。そのため、NPSで明らかになった成長要因と課題を優先することが重要であると考え。また、今回はソフト施策に着目して調査を行ったが、NPSを通して赤川の河川敷に来る目的がないという意見が多くみられたことから、健康遊具等のハード施策を進めることで散策やジョギング等の従来の利用者以外の人々が来訪する『日常的に人が集まる空間』の創出を達成できると考える。

### ■赤川社会実験 まとめ考察

- 今回の実験においては、単発的な活動がメインとなったが、事業者同士の**連携した活動と情報発信を強化**することで、一定の賑わいが創出されると考えられる。
- 赤川が日常的に人で賑わう空間となるよう、実験の手法を検討し、**継続して実施**することが望ましいと考える。

## (4) 今後のスケジュールについて

- 今後も、推進協議会や必要に応じてワークショップ等の意見交換会等を開催し、目標の実現に向けた取り組みを進めていく。



# (4)今後のスケジュールについて

## 1. 次年度の予定 ※標記しているスケジュールは鶴岡市で想定しているものです

項目	令和2年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
第3回かわまちづくり推進協議会			■		> 現地で整備箇所(設計方針)の確認 ※上・下流域エリア > 整備工程の協議 > 社会実験の視察(状況に応じて)								
第4回かわまちづくり推進協議会								> 社会実験の報告 > 測量設計成果品の確認 > 次年度の予定		■			
測量設計委託		発注	■										成果品納品
赤川社会実験(継続事業)	開始(3月中に事業者決定)		■										

## 2. 鶴岡市赤川かわまちづくり事業 全体スケジュール ※事業期間は、完了評価を含めたR2～R11までの10年となります。

項目	エリア	内容	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11～
鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会	下流域エリア	整備の位置・形状、利活用、維持管理の具体化	2回	■			ワークショップ(必要に応じて開催)		■				
	上流域エリア	整備の位置・形状、利活用、維持管理の具体化	ワークショップ					■		各年度1～2回を想定		維持管理 利活用	→ 整備完了後も継続した検証を行う
鶴岡市	下流域エリア	園路、駐車場、利用案内看板 トイレ、広場 等		測量設計	整備工事	■		■					
	上流域エリア	駐車場、広場、利用案内看板 トイレ、四阿 等						測量設計	整備工事	■			
国	下流域エリア	河畔整備、管理用通路 親水護岸、堤防坂路 等	事業再評価	測量設計	整備工事	■		■				事業再評価	事後評価
	上流域エリア	河畔整備、管理用通路 高水敷整正、親水護岸 等						整備工事	■			事業再評価	事後評価

# 赤川総合水系環境整備事業 事業再評価の結果報告について

## 説明資料

令和2年2月19日(水)

国土交通省 東北地方整備局  
酒田河川国道事務所

# 実施状況(第10回 赤川水系河川整備学識者懇談会)

## 【第10回 赤川水系河川整備学識者懇談会】

○開催日時: 令和元年11月11日(月) 13:30~15:45

○開催場所: 庄内産業振興センター  
西館3階マリカ市民ホール

### ○内容

国管理区間における赤川総合水系環境整備事業  
(自然再生事業(整備済)、三川町かわまちづくり(整備中)、鶴岡市赤川かわまちづくり(新規)の3事業)の事業再評価について審議

### ○審議結果

今後の事業の必要性、重要性に変更はなく、費用対効果も確認できることから、赤川総合水系環境整備事業については、「事業継続が妥当」と判断



## 【東北地方整備局事業評価監視委員会】

○12月18日に開催された東北地方整備局事業評価監視委員会に「事業継続が妥当」の審議結果を報告



R2年度より事業着手予定(河畔整備、施設設計)

## 第10回「赤川水系河川整備学識者懇談会」

### 1. 赤川水系河川整備学識者懇談会 委員名簿

氏名	所属等	備考
阿部 誠	三川町 町長	
今井 正	日本野鳥の会 山形県支部 幹事	
井良沢 道也	岩手大学 農学部 教授	欠席
大島 美恵子	東北公益文科大学 名誉教授	
貝山 道博	東北文化学園大学 総合政策学部 教授	欠席
萱場 祐一	国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ 研究グループ長	欠席
酒井 忠久	致道博物館 館長	
原 慶明	山形大学 名誉教授	
前川 勝朗	山形大学 名誉教授	
丸山 至 (伊藤 優)	酒田市 市長 (酒田市 建設部長)	代理
皆川 治 (増田 亨)	鶴岡市 市長 (鶴岡市 建設部長)	代理
渡邊 一哉	山形大学 農学部 准教授	

※敬称略、50音順

### 2. 東北地方整備局 名簿

氏名	所属等	備考
長田 仁	河川調査官	
菅 太	酒田河川国道事務所長	
川口 滋	新庄河川事務所 河川副所長	
佐藤 勝美	月山ダム管理所長	

### 3. 山形県 名簿

氏名	所属等	備考
竹内 晃	山形県 県土整備部 河川課長	
佐藤 亨	庄内総合支庁 建設部 河川砂防課長	

※懇談会当日の資料は、下記アドレスにて公表しております。

<http://www.thr.mlit.go.jp/sakata/office/works/river/aka-seibi-10.html>



# 費用便益

## ■ 便益算定方法

	今回の検討(令和元年度)CVM <sup>(※1)</sup>	
	鶴岡市赤川かわまちづくり	三川町かわまちづくり
集計範囲	事業箇所から12km圏 ※H30予備調査結果より設定	事業箇所から10km圏 ※H30予備調査結果より設定
対象世帯数	28,351世帯 ※事業箇所から12km圏に含まれる地区の世帯数 (H31.4.1時点の山形県公表値)	39,568世帯 ※事業箇所から10km圏に含まれる地区の世帯数 (H31.4.1時点の山形県公表値)
アンケート調査	有効回答数300票程度を目標に、手引きに示されている回収率・有効回答率から、住民基本台帳より抽出した1,500票 回答数:805票	有効回答数300票程度を目標に、手引きに示されている回収率・有効回答率から、住民基本台帳より抽出した1,500票 回答数:750票
支払意思額	<b>289円/月・世帯</b> 回答アンケートから、抵抗回答等を排除した有効回答400票からの平均支払意思額	295円/月・世帯 回答アンケートから、抵抗回答等を排除した有効回答418票からの平均支払意思額

(※1)CVM:環境整備の便益を、個人や世帯が対価として支払ってもよいと考える金額(支払意思額(WTP))をもって評価する方法

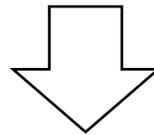
## ■ 費用便益比(B/Cの算出)

- 全体事業の**費用便益比(B/C)は3.7**、**残事業は3.2**、**完了地区は4.0**と算定。いずれも1.0を上回っていることから投資効率性が良い結果となっています。

		今回の評価(R1)			前回の評価(H28)		
		全体事業	残事業	完了地区	全体事業	残事業	完了地区
費用	総費用C	38.1億円	14.0億円	24.1億円	25.2億円	0.7億円	22.6億円
	建設費	37.4億円	13.5億円	23.9億円	22.9億円	0.6億円	20.5億円
	維持管理費	0.7億円	0.5億円	0.2億円	2.4億円	0.1億円	2.1億円
効果	総便益B	142.2億円	45.1億円	97.0億円	91.0億円	1.5億円	85.7億円
	便益	142.0億円	45.1億円	96.9億円	90.9億円	1.5億円	85.6億円
	残存価値	0.2億円	0.1億円	0.1億円	0.1億円	0.0億円	0.1億円
費用対便益比(CBR) B/C		<b>3.7</b>	<b>3.2</b>	<b>4.0</b>	3.6	2.2	3.8
純現在価値化(NPV) B-C		104.2億円	31.2億円	72.9億円	65.7億円	0.8億円	63.0億円
経済的内部収益率(EIRR)		17.5%	13.0%	18.3%	17.9%	9.9%	18.4%

## ■委員から出された意見

- ・かわまちづくりについては、地域の方々等の意見やニーズを踏まえ事業を進めることが望ましい。あわせて、整備後は適切な維持管理にも努めて欲しい。
- ・事業がうまくいっていることがわかるためにも、利活用、維持管理において、地域(町内会など)、学校、企業等の協力が見えるようにした方が良い。
- ・台風などの災害によって、川が危ない場所と認識されており、どの様に川に関心をもってもらうかが重要。
- ・市民への情報発信、市民からの意見をどの様に受け取るかのシステムづくりが大事。



(対応方針)

鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会での協議調整をもってとりまとめていきたい

# 第2回鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 整備内容・利活用・維持管理について

令和2年2月19日

鶴岡市都市計画課

P2 ・整備工程について  
P3 ・整備イメージ図 ≪下流域全域≫  
P4 ・ // ≪左岸 16.8k付近≫  
P5 ・ // ≪左岸 17.2k付近≫  
P6 ・ // ≪左岸 17.6k付近≫  
P7 ・ // ≪左岸 17.8k付近≫  
P8 ・ // ≪左岸 18.2k付近≫  
P9 ・ // ≪左岸 18.8k付近≫  
P10 ・ // ≪右岸 18.8k付近≫  
P11 ・ // ≪右岸 18.2k付近≫  
P12 ・ // ≪右岸 17.4k付近≫  
P13 ・ // ≪右岸 16.8k付近≫  
P14 ・各施設の整備内容 ≪園路≫  
P15 ・ // ≪駐車場≫  
P16 ・ // ≪広場≫  
P17 ・ // ≪看板≫

P18 ・各施設の整備内容 ≪トイレ≫  
P19 ・ // ≪照明灯≫  
P20 ・ // ≪水栓、四阿、ベンチ≫  
P21 ・ // ≪遊具≫  
P22 ・ // ≪レンタサイクルポート≫  
P23 ・ // ≪河畔整備≫  
P24 ・ // ≪管理用通路≫  
P25 ・ // ≪親水護岸≫  
P26 ・ // ≪階段工≫  
P27 ・ // ≪堤防スロープ≫  
P28 ・ // ≪進入路拡幅≫  
P29 ・ // ≪桜ハウス≫  
P30 ・ // ≪親水エリア≫  
P31 ・利活用、イベントスケジュールについて  
P32 ・維持管理体制の構築について  
P33 ・利活用、維持管理体制の方向性

# 整備工程について

## ●整備(計画)期間

令和2年～令和9年(8年計画)

## ●整備工程

令和2年～令和6年 下流域エリア

令和7年～令和9年 上流域エリア

➤ 早期に事業の効果が見込まれる下流域エリアより着手する。

➤ 一体的な整備を行うことにより、観光面などでより事業効果が見込まれるものは、上下流の区別なく早期着手を目指す。

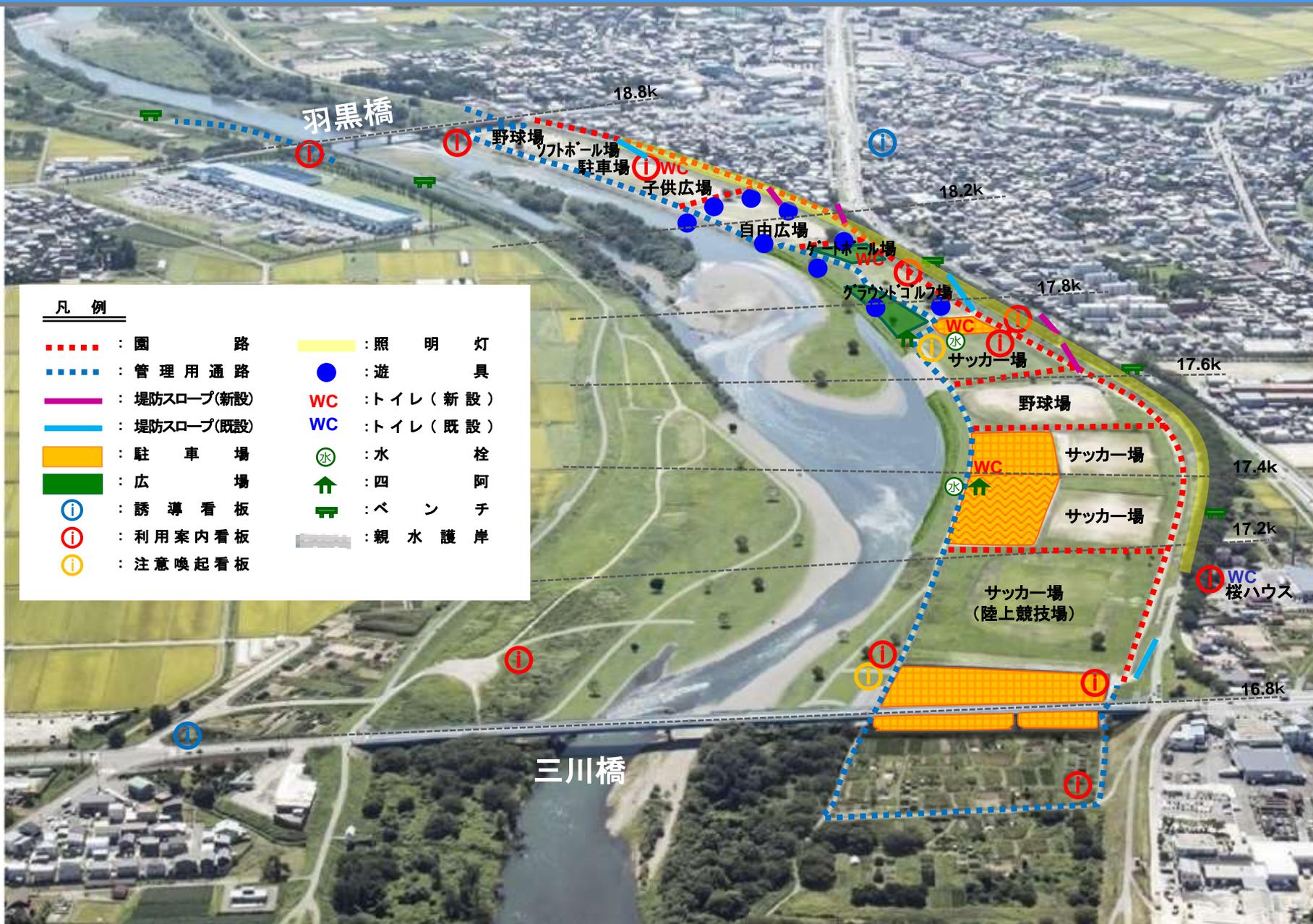
※かわまちづくり支援制度の要綱上、整備は概ね5カ年で実施することになっている。

事業 主体	整備内容	単位	数量	数量内訳		R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				下流域エリア	上流域エリア			1期整備(下流域)				2期整備(上流域)			
鶴岡市	園路整備	m <sup>2</sup>	9,400	9,400		事業 評価	測量 設計								
	駐車場整備	m <sup>2</sup>	20,800	12,500	8,300										
	サイン(看板)整備	基	23	11	12										
	トイレ整備(新規、更新)	基	5	4	1										
	照明灯整備	基	18	18											
	水栓整備(新規、増設)	基	3	2	1										
	四阿整備	基	3	2	1										
	ベンチ整備	基	12	5	7										
	広場整備(芝生)	m <sup>2</sup>	6,500	5,300	1,200										
	広場整備(クレイ)	m <sup>2</sup>	7,300		7,300										
	渡河施設整備	箇所	2		2										
	遊具整備	基	5	4	1										
	橋梁拡幅	橋	1		1										
	樹勢調査	本	40		40										
	古木更新	本	10		10										
	レンタサイクル	台	45	20	25										
測量設計	回	3	2	1											
国	河畔整備	m <sup>2</sup>	161,500	95,500	66,000	事業 評価	測量 設計								
	管理用通路(遊歩道、散策路)	m	5,590	2,800	2,790										
	高水敷整正	m <sup>2</sup>	9,600		9,600										
	堤防坂路(舗装)	m <sup>2</sup>	250		250										
	渡河施設	箇所	1		1										
	親水護岸	m	160	130	30										
	階段工	箇所	8	8											
	堤防坂路(スロープ)	箇所	4	4											
進入路拡幅	箇所	3	2	1											
測量設計	回	1	1												

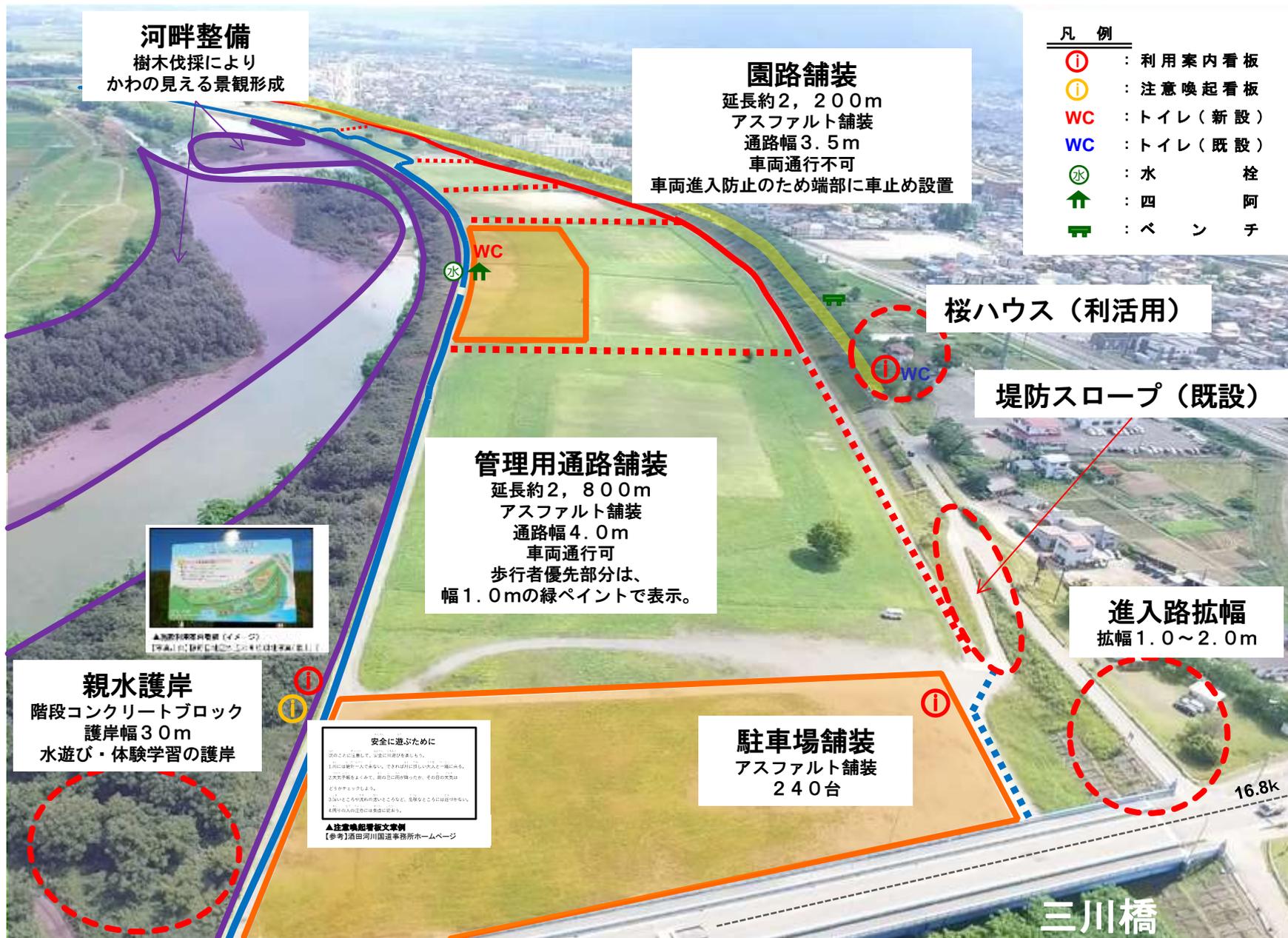
※整備工程については、今後の推進協議会において協議

# 整備イメージ図 《下流域全域》

【赤川河川緑地】



凡 例	
.....	: 園 路
.....	: 管 理 用 通 路
.....	: 堤防スロープ(新設)
.....	: 堤防スロープ(既設)
.....	: 駐 車 場
.....	: 広 場
①	: 誘 導 看 板
②	: 利 用 案 内 看 板
③	: 注 意 喚 起 看 板
.....	: 照 明 灯
●	: 遊 具
WC	: トイレ (新 設)
WC	: トイレ (既 設)
水	: 水 栓
↑	: 四 阿
↑	: ベ ン チ
.....	: 親 水 護 岸



## 凡 例

- ① : 利用案内看板
- Ⓜ : 注意喚起看板
- WC (赤) : トイレ (新設)
- WC (青) : トイレ (既設)
- 水 (水) : 水 栓
- ↑ (緑) : 四 阿 チ
- ↑ (黒) : ベ ン チ



### トイレ

男女別、多目的付、用便器  
大規模イベント時は、その  
主催者側で別途設置。

### 階段工

(既存階段拡幅)  
階段幅50m  
階段の一部の段差を緩やかにし、手摺りの設置を検討。

### 照明灯

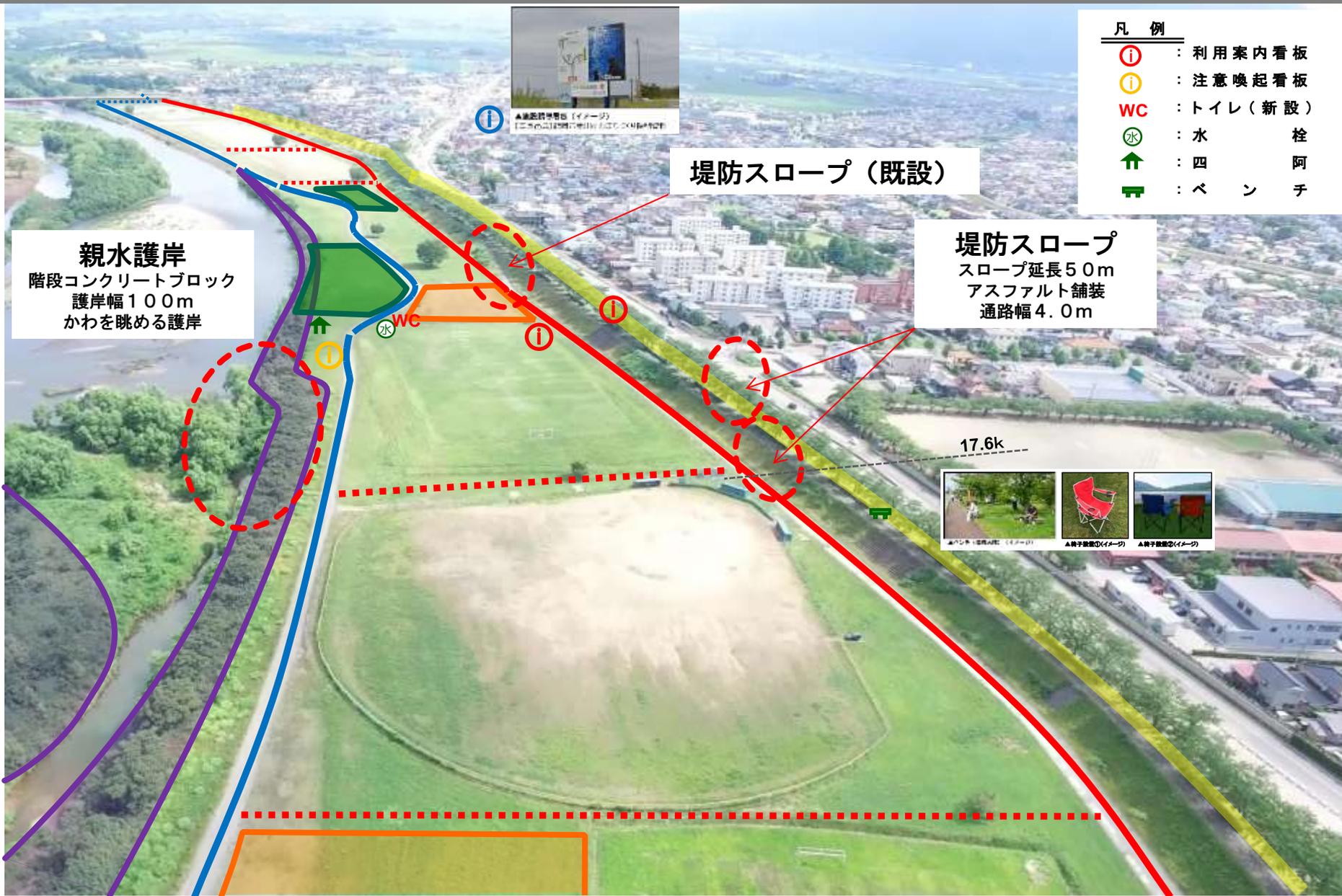
3基/100m (合計約45基)  
ソーラー式LED照明  
タイマー又は自動点滅器による制御  
桜の影響を受けないようポールタイプ仕様

### 駐車場舗装

上流側：アスファルト舗装  
下流側：砂利舗装  
150台  
下流側は、繁忙時のみ臨時  
駐車場とし、通常時は多目的  
利用を図る。

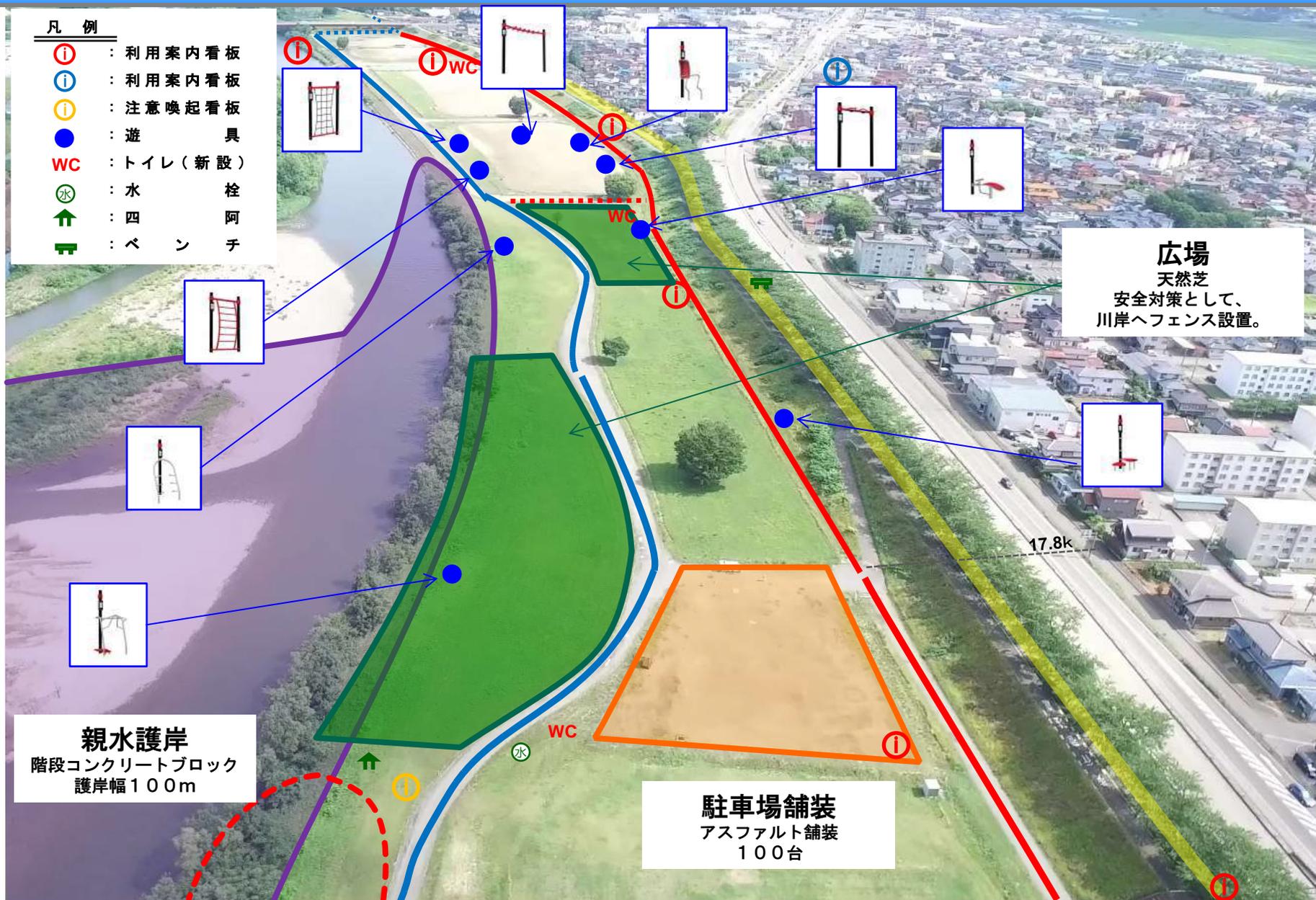
### 桜ハウス (利活用)

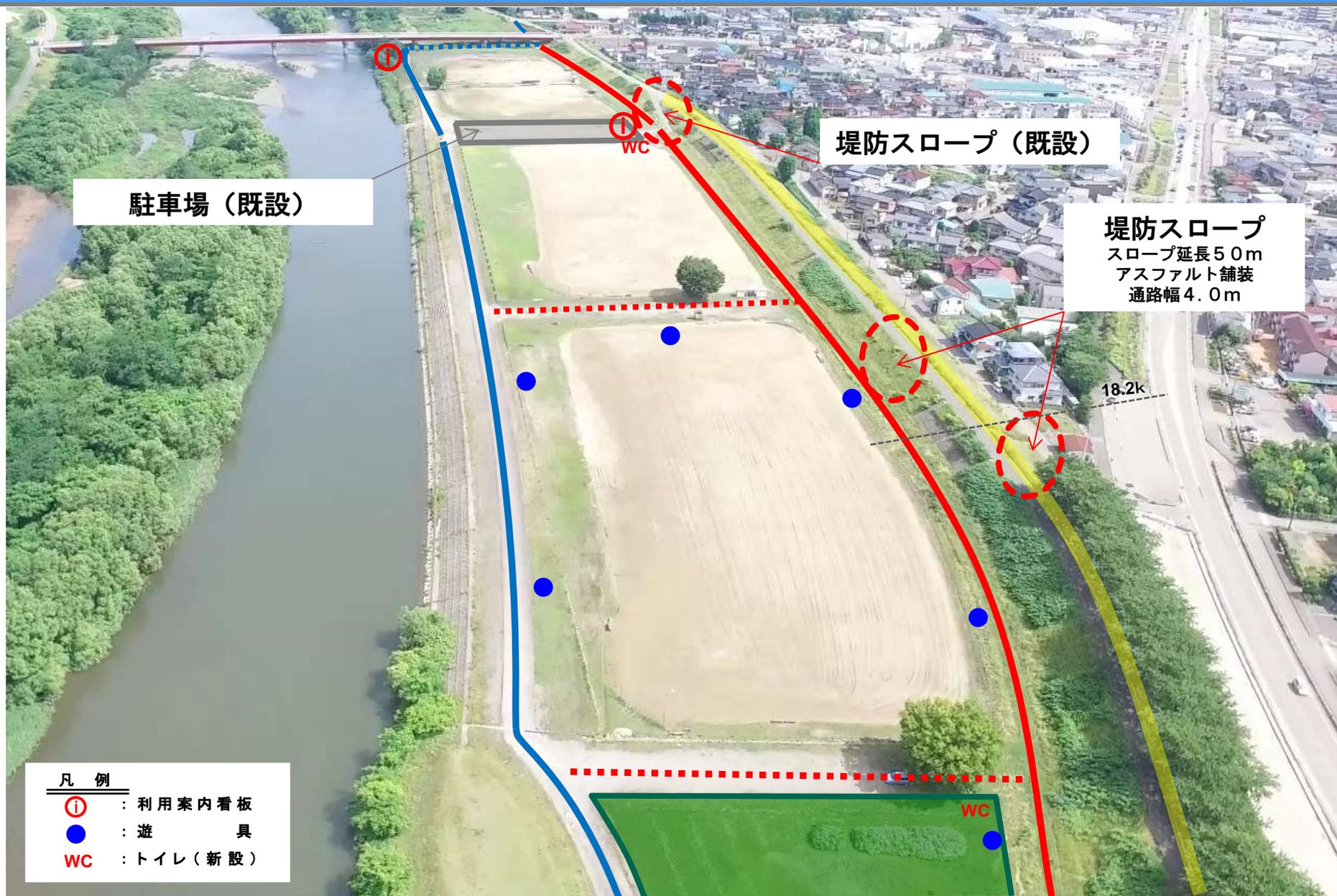
17.2k

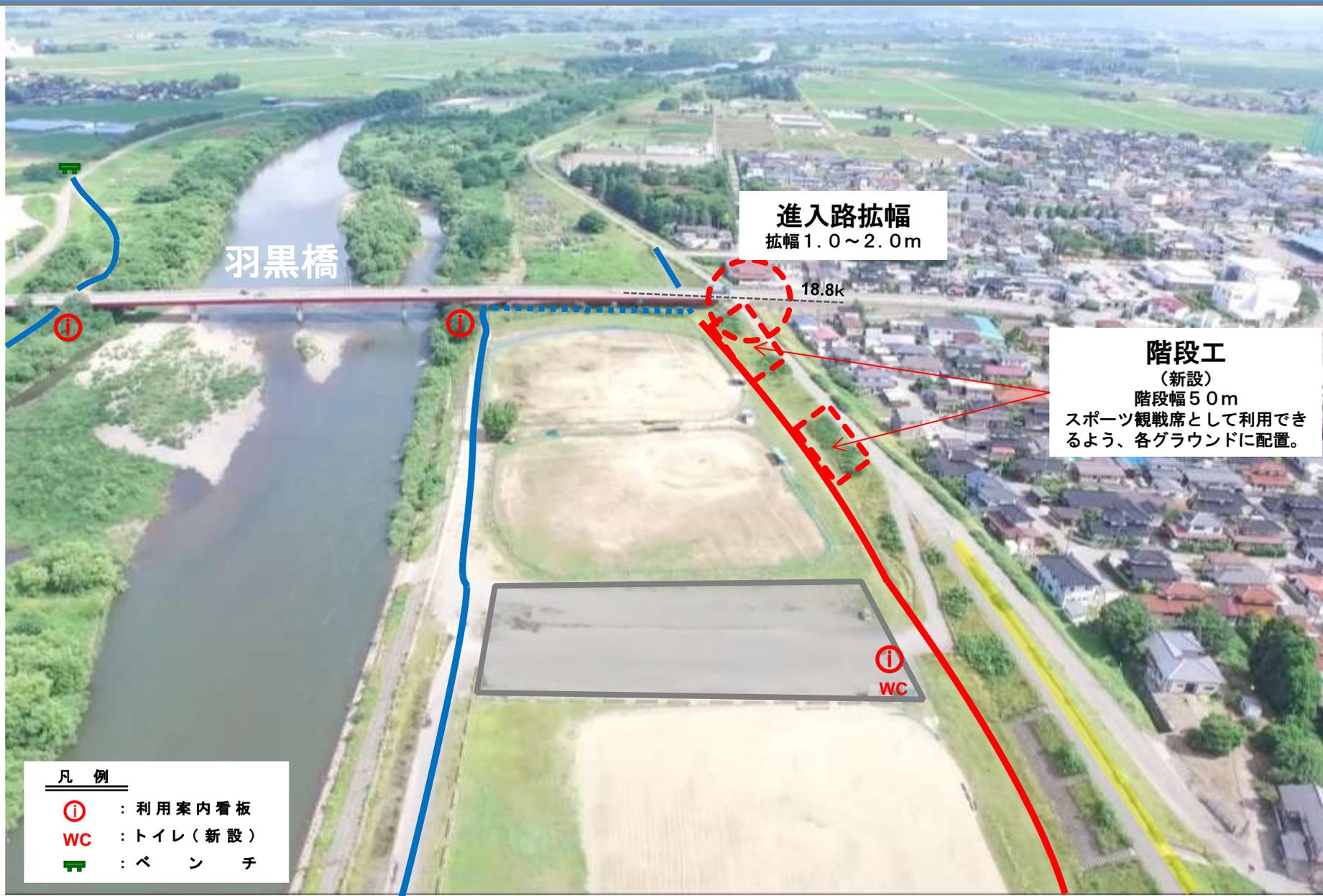


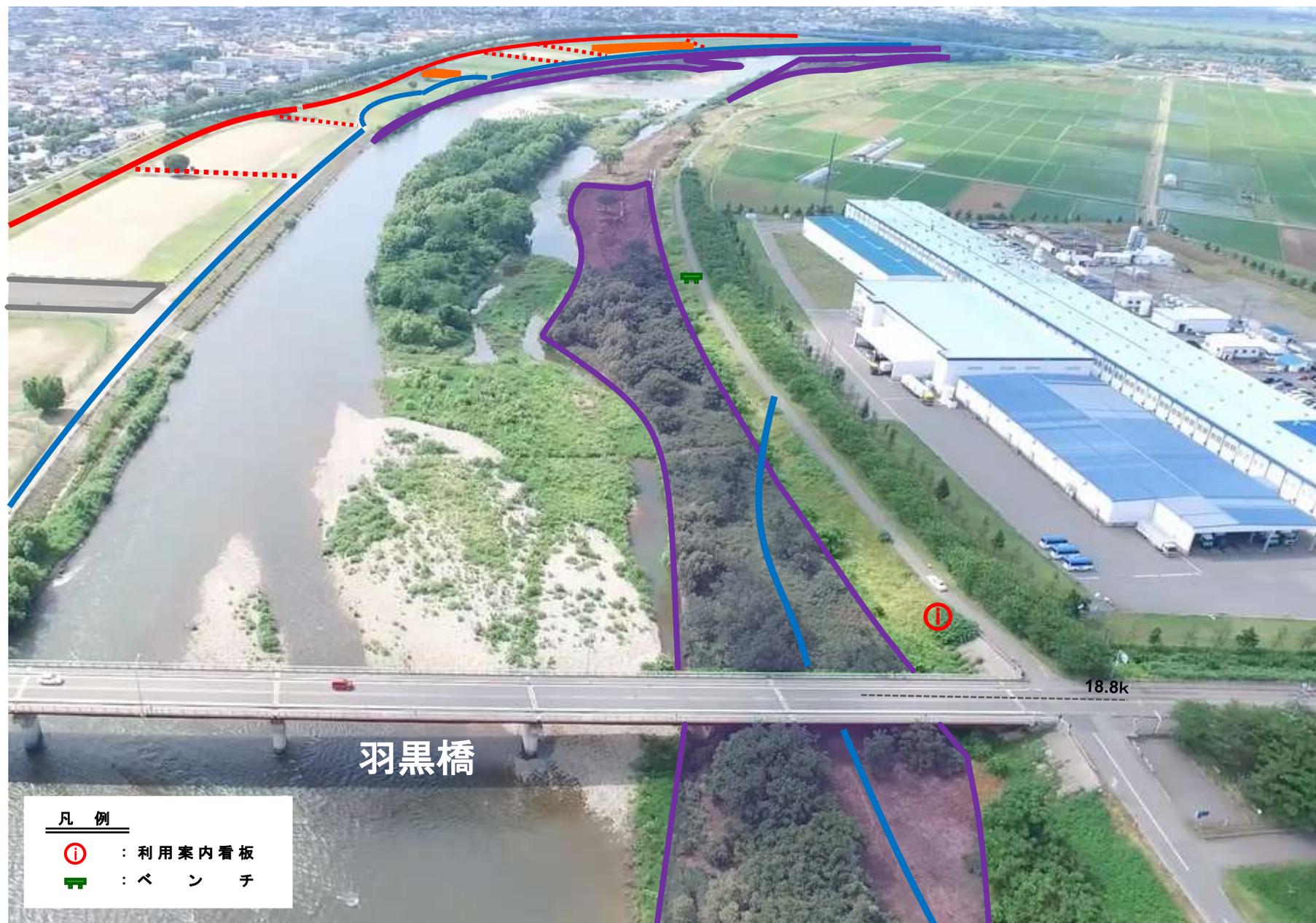
# 整備イメージ図 《左岸 17.8k付近》

【赤川河川緑地】



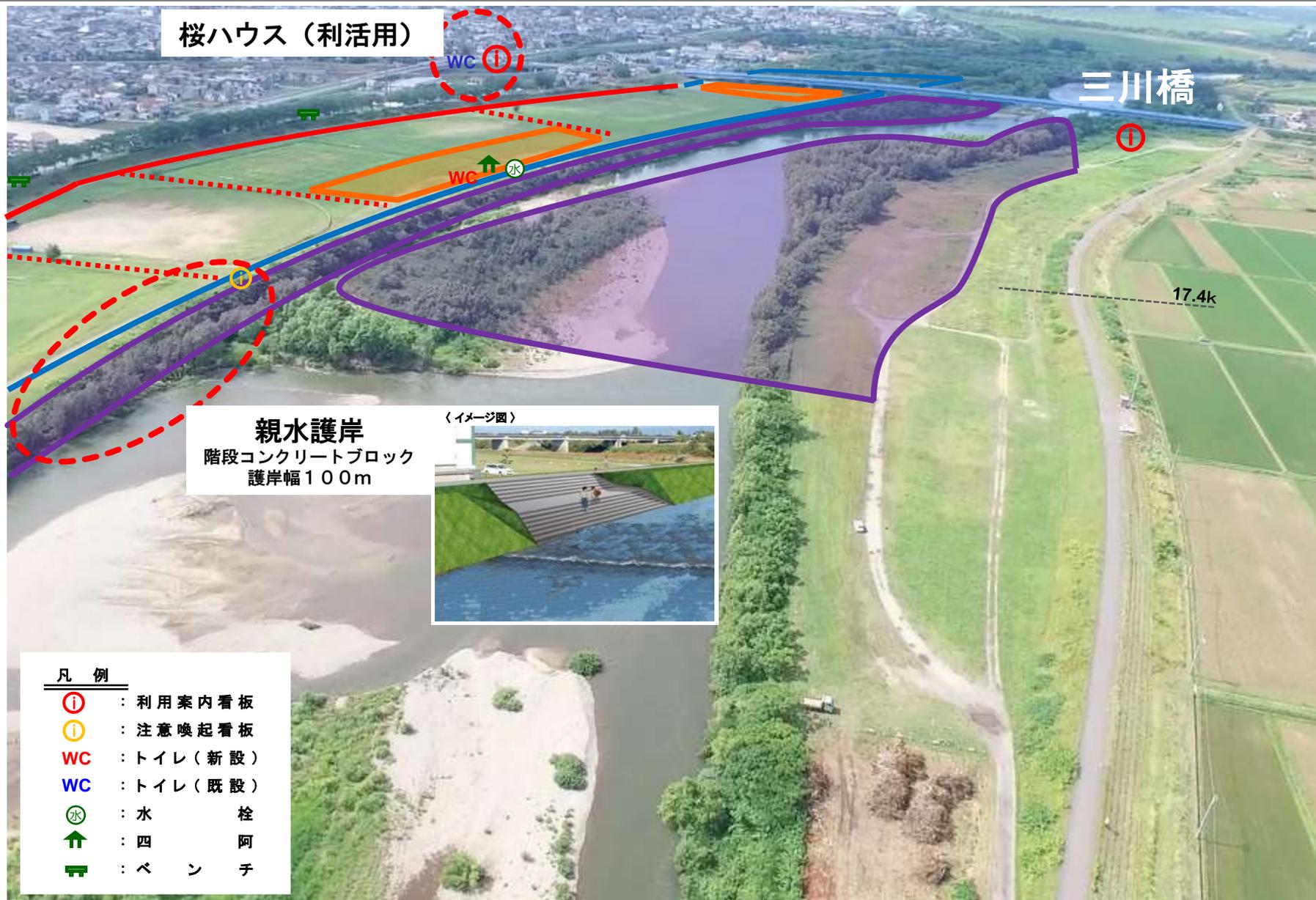








凡例  
: ベンチ



桜ハウス (利活用)

三川橋

17.4k

親水護岸  
階段コンクリートブロック  
護岸幅100m

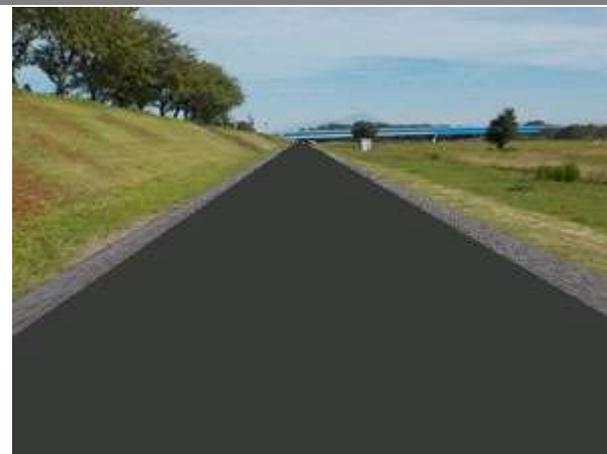


- 凡 例
- ① : 利用案内看板
  - ② : 注意喚起看板
  - WC : トイレ (新設)
  - WC : トイレ (既設)
  - ⊙ : 水 栓
  - ↑ : 四 阿
  - ⊞ : ベ ン チ



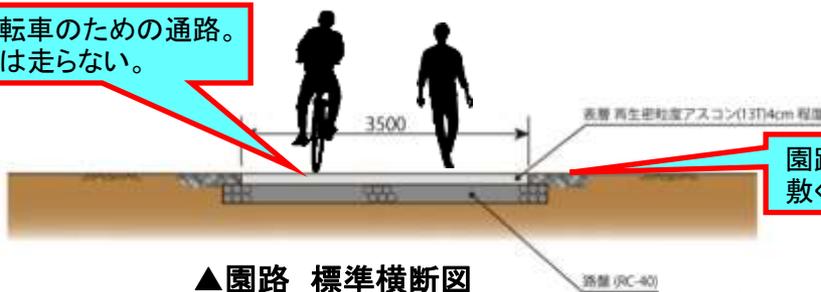
### 園路

- 舗装及びかわへのアクセス向上を図る園路整備
- 延長：約2,200m
- 通路幅：3.5m（自転車がすれ違って通行できる幅）
- 舗装形式：アスファルト舗装
- 園路まわりに草が繁茂しにくいように両端に砂利を敷く
- 車両進入防止のため、端部に車止めを設置する。



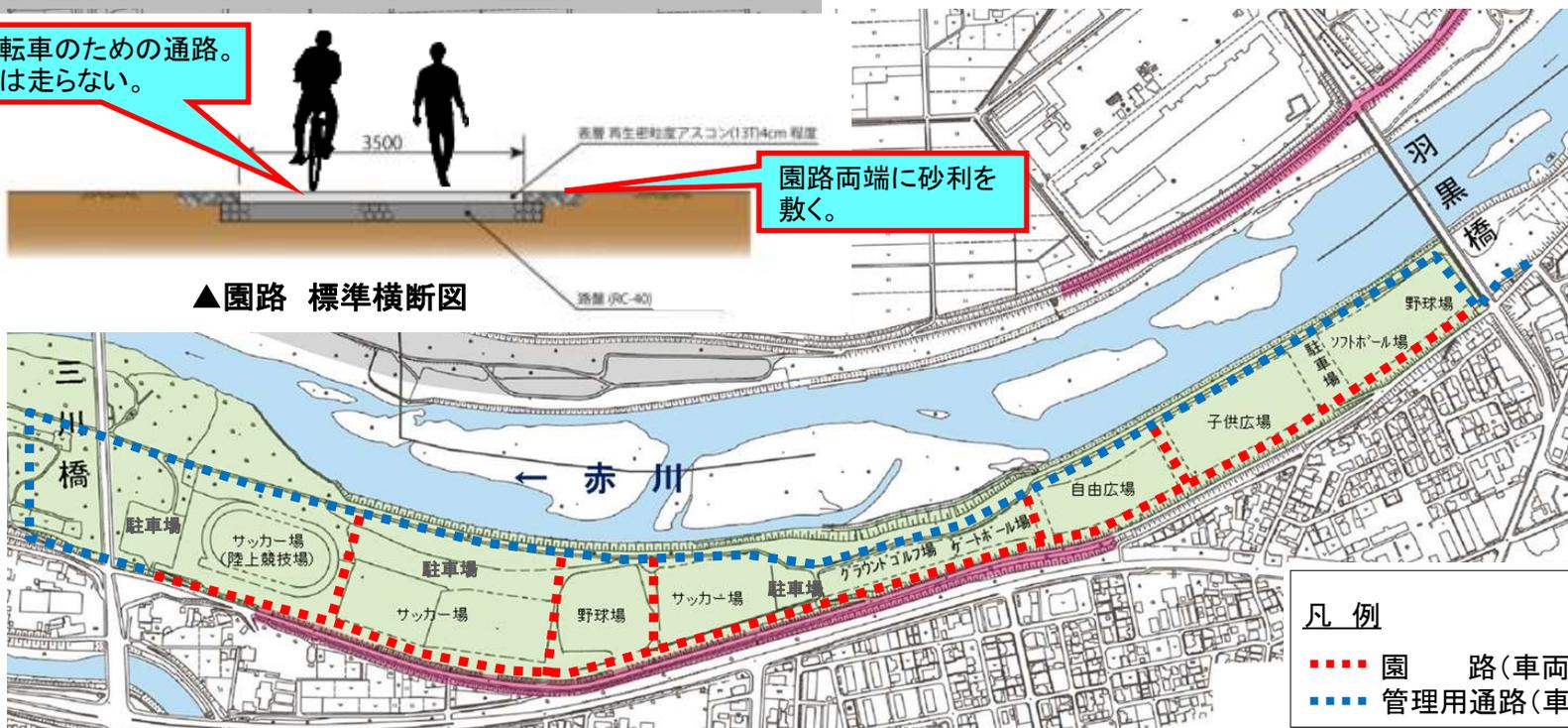
▲園路舗装イメージ

人や自転車のための通路。  
自動車は走らない。



▲園路 標準横断面

園路両端に砂利を敷く。



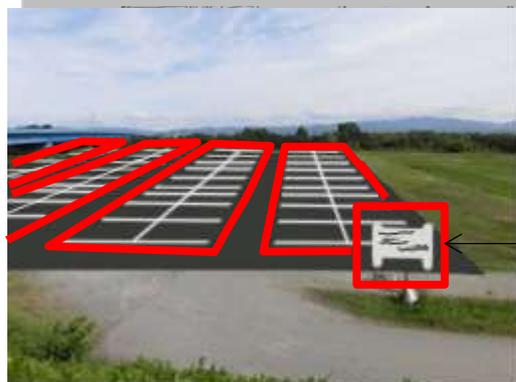
#### 凡例

- 園路(車両通行不可)
- 管理用通路(車両通行可)

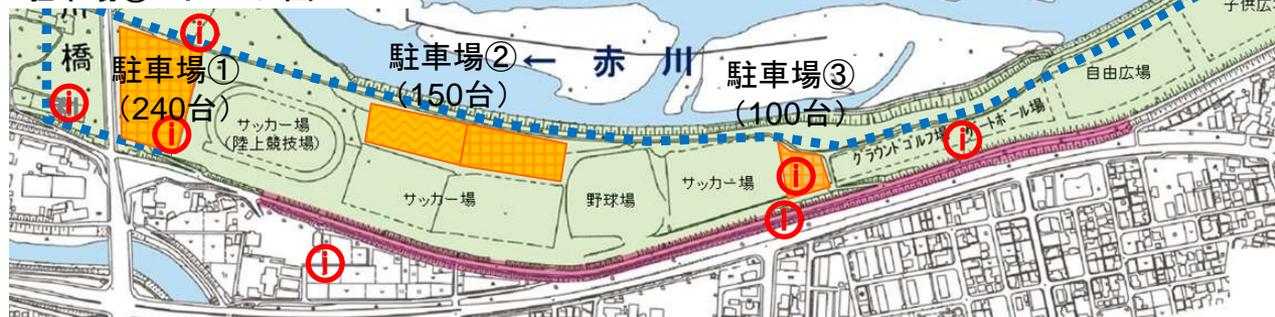
▲園路整備平面図

### 駐車場

- 箇所数: 3箇所
- 舗装形式: 駐車場①・③: アスファルト舗装  
駐車場②: アスファルト舗装/砂利舗装
- 駐車場②のみ脱着式車止めで半分に区切り、上流側はアスファルト舗装、下流側は砂利舗装にする。繁忙時は「臨時駐車場」とする。



▲駐車場① イメージ図



#### 凡例

- 駐車場 (アスファルト舗装)
- 駐車場 (砂利舗装)
- 駐車場 (既設: 砂利舗装)
- Ⓜ 利用案内看板
- ⋯ 管理用通路 (車両通行可)

### 広場

- 箇所数: 2箇所
- 多目的な利用のできる芝生広場を設置
- 芝種: **天然芝**
- 天然芝: メリット 導入時安価  
デメリット 定期的な管理(施肥等)が必要
- 人工芝: メリット 管理が簡単、耐久性に優れる  
デメリット 導入時高価、火気の使用が限られる
- 安全対策として川岸へフェンス設置



▲多目的広場 イメージ図 (天然芝)



## 看板

- 看板整備:16箇所
  - 内 誘導看板 3箇所
  - 利用案内看板 11箇所
  - 注意喚起看板 2箇所
- 各広場入口にも名称を付した案内板を設置



▲ジョギング・ウォーキングコース案内看板（イメージ）

【写真出典】鶴岡市赤川かわまちづくり説明資料



▲施設利用案内看板（イメージ）

【写真出典】榊野目地区水辺の楽校現地写真(最上川)

**安全に遊ぶために**

次のことに注意して、安全に川遊びを楽しもう。

- 1.川には絶対一人で来ない。できれば川に詳しい大人と一緒に来る。
- 2.天気予報をよくみて、前の日に雨が降ったか、その日の天気はどうかチェックしよう。
- 3.深いところや流れの速いところなど、危険なところには近づかない。
- 4.周りの人の注意には素直に従おう。

▲注意喚起看板文章例  
【参考】酒田河川国道事務所ホームページ



▲施設誘導看板（イメージ）

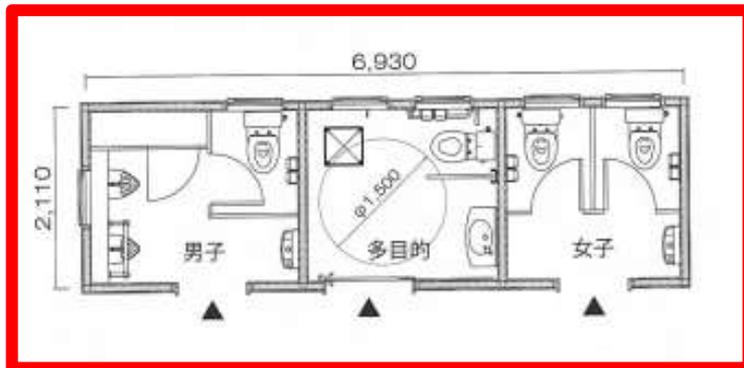
【写真出典】鶴岡市赤川かわまちづくり説明資料



- 凡例
- ① 誘導看板
  - ② 利用案内看板
  - ③ 注意喚起看板
  - ..... 園路(車両通行不可)
  - ..... 管理用通路(車両通行可)

## トイレ

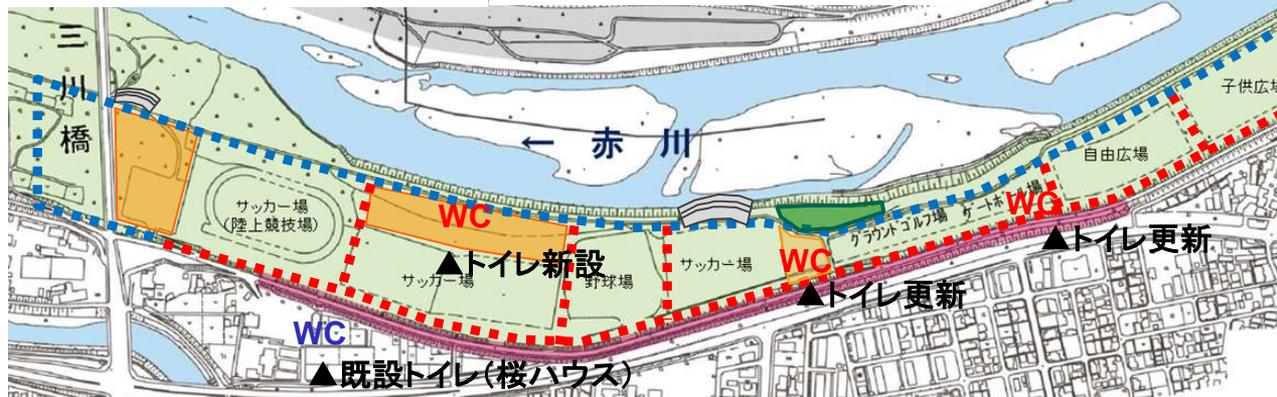
- トイレ整備:4箇所
- 規格等:男女別、多目的付を標準とする。
- 大規模なイベント時はその主催者側で別途設置
- 利用者の利便性を考慮し洋便器へ変更



▲トイレ（イメージ）移動可能



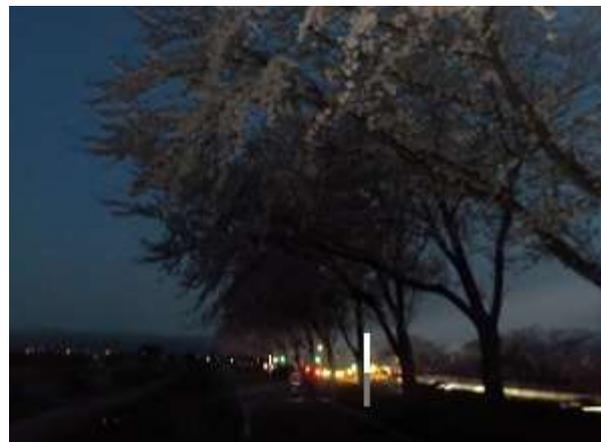
▲トイレ（イメージ）移動可能



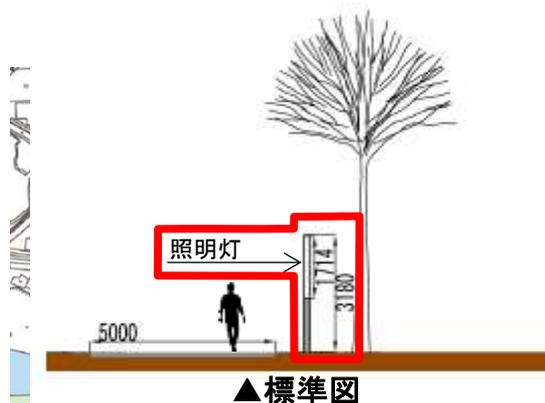
凡例	
WC	トイレ(新設・更新)
WC	トイレ(既設)
---	園路(車両通行不可)
---	管理用通路(車両通行可)
---	駐車場
---	多目的広場

### 照明灯

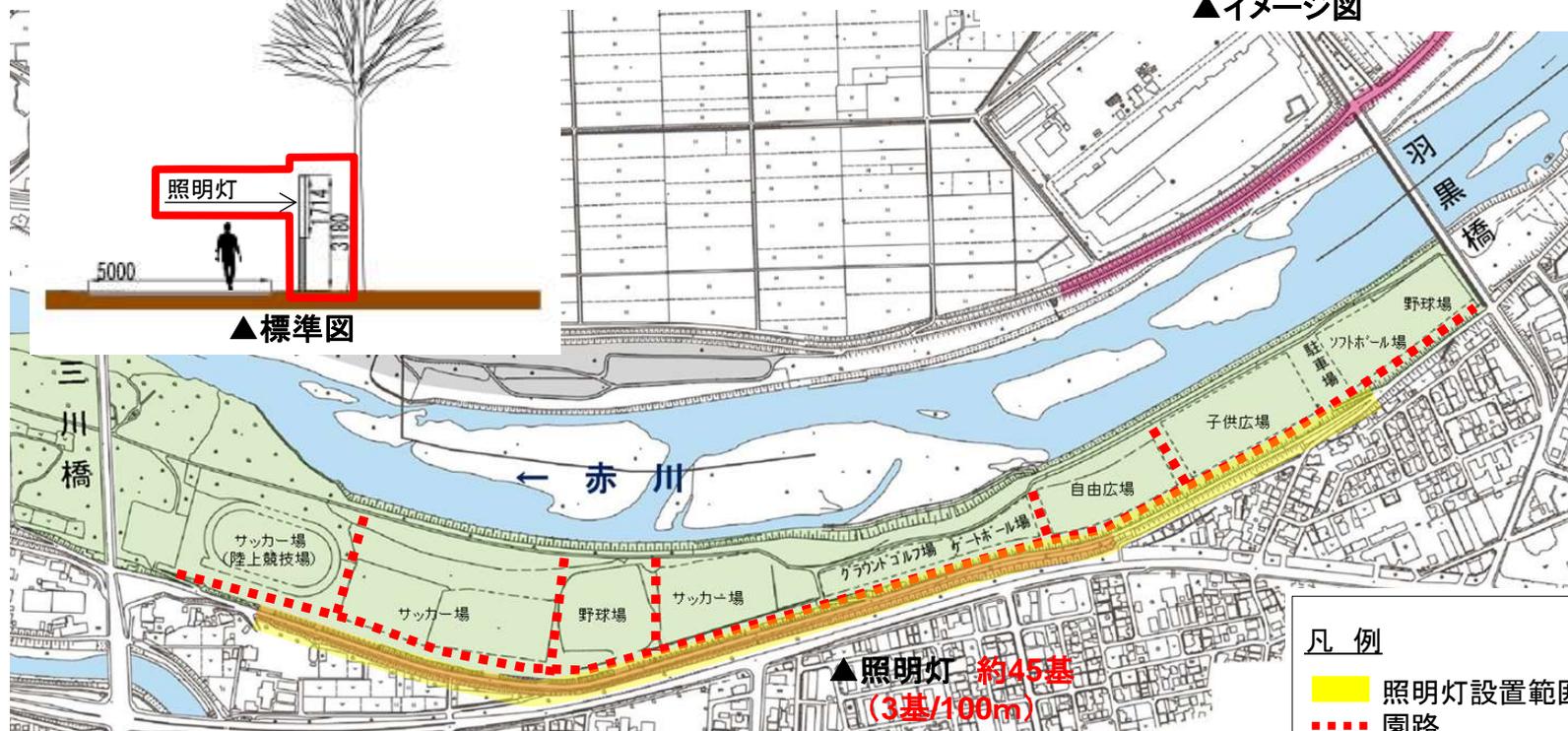
- 照明灯設置：約45基
- 配置計画：3基/100m
- 規格等：ソーラー式LED照明  
タイマー又は自動点滅器による制御
- 桜の影響を受けないようポールタイプ仕様



▲イメージ図



▲標準図



# 各施設の整備内容（赤川河川緑地）

【水栓、四阿、ベンチ】

## 水栓、四阿、ベンチ

- 水栓:2箇所
- 四阿:2箇所
- ベンチ:5基

※四阿及びベンチについては、簡易テント及び椅子の貸出による代替案についても検討する



▲四阿（イメージ）



▲ベンチ（堤防天端）（イメージ）



▲水栓（イメージ）



▲テント設置イメージ①



▲テント設置イメージ②



▲椅子設置イメージ①



▲椅子設置イメージ②

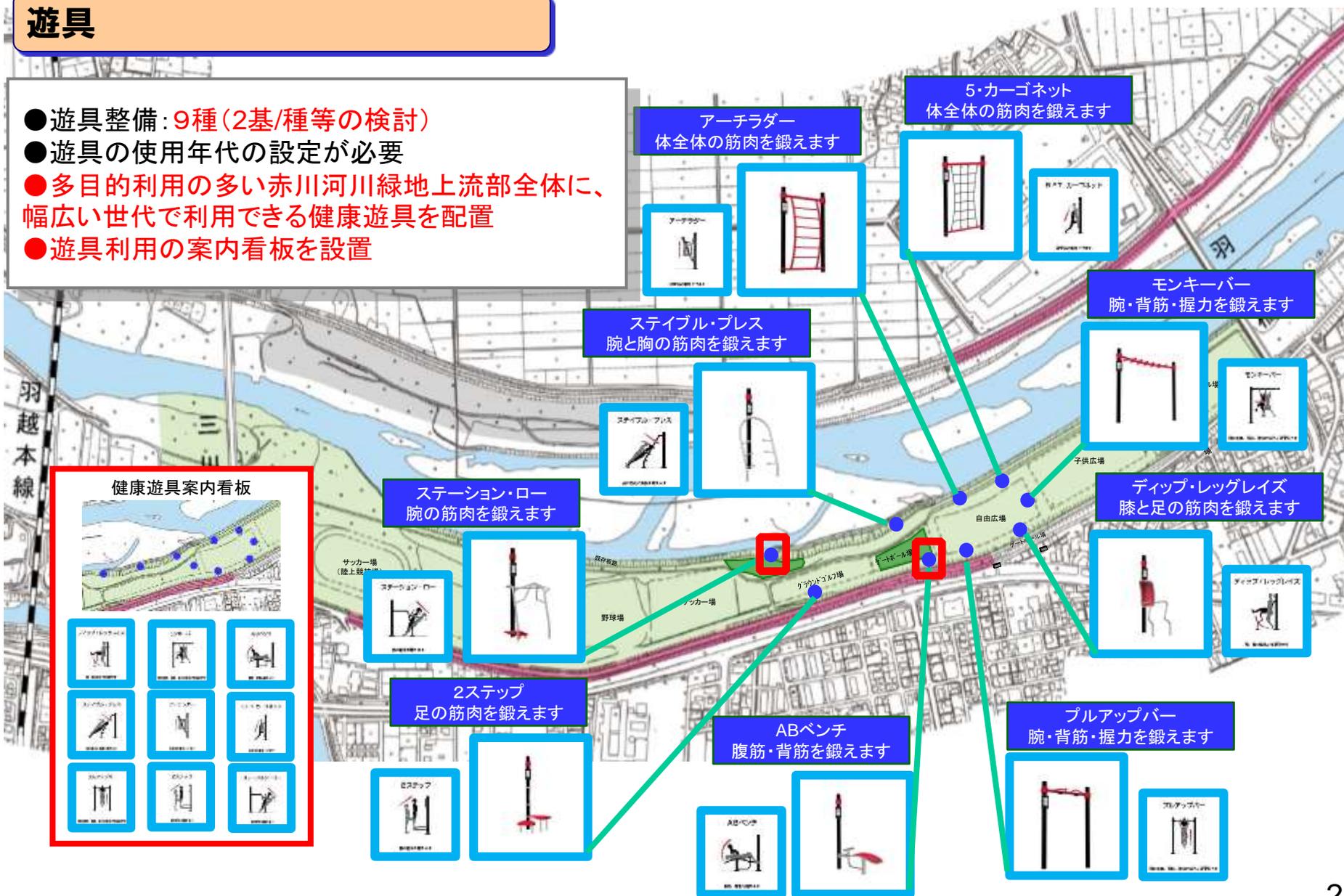


### 凡例

- ⊙水 : 水栓(2箇所)(新設・更新)
- ↑ : 四阿(2箇所)
- ⊞ : ベンチ(5基)(新設)

## 遊具

- 遊具整備：9種（2基/種等の検討）
- 遊具の使用年代の設定が必要
- 多目的利用の多い赤川河川緑地上流部全体に、幅広い世代で利用できる健康遊具を配置
- 遊具利用の案内看板を設置



アーチラダー  
体全体の筋肉を鍛えます

5・カーゴネット  
体全体の筋肉を鍛えます

ステイブル・プレス  
腕と胸の筋肉を鍛えます

モンキーバー  
腕・背筋・握力を鍛えます

ステーション・ロー  
腕の筋肉を鍛えます

ディップ・レッグレイズ  
膝と足の筋肉を鍛えます

2ステップ  
足の筋肉を鍛えます

ABベンチ  
腹筋・背筋を鍛えます

プルアップバー  
腕・背筋・握力を鍛えます

健康遊具案内看板

# 各施設の整備内容（赤川河川緑地）

【レンタサイクルポート】

- レンタサイクルポート: 計画区域 9箇所  
赤川河川緑地、榑引総合運動公園、鶴岡公園  
松ヶ岡開墾場、黒川能の里、丸岡城跡史跡公園  
産直めぐり、鶴岡駅前、庄内観光物産館
- 主要な観光地へも配置
- 使用年代に応じた自転車の配置
- 子供用も貸出
- 貸し出し方法が重要  
→ 管理人の配置 OR 電子決済によるレンタル
- 移動距離の設定



## 河畔整備

- 範囲：約95,500㎡
- 繁茂している樹木の伐採により、かわの見える景観形成を図る
- 伐採は、生息・生育環境に配慮しながら実施（樹木の間引きを基本）
- 伐採木を使った工作教室等のイベントを検討



河畔整備（繁茂状況）



河畔整備後イメージ  
（かわの見える景観）

【赤川の代表的な魚類】  
アユ、ウグイ、サクラマス、サケ



■サクラマス



■アオサギ

【カモ類の集団越冬地】  
（主な出現種）  
マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、カワアイサ

【主な植生】  
オオブタクサ群落

▼河畔整備対象範囲  
（95,500㎡）

【主な植生】  
ハリエンジュ群落

【主な植生】  
人工草地

【主な植生】  
ハリエンジュ群落

【サギ類の集団休息地】  
（主な出現種）  
アオサギ、コサギ、ダイサギ

【主な植生】  
オニグルミ群落  
オギ群落

【確認された動物】  
（両性類）ニホンアマガエル  
（爬虫類）シマヘビ  
（哺乳類）ヒミズ、アズマモグラ、ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ

▲赤川河川緑地周辺で  
確認された動植物

### 管理用通路

- 延長：約2,800m
- 通路幅：4.0m（現況幅員を確保し、必要に応じて待避所を設置）
- 舗装形式：アスファルト舗装
- 歩行者優先の表示（緑ペイント）を設置（幅1.0m）
- 管理用通路まわりに草が繁茂しにくいように両端に砂利を敷く



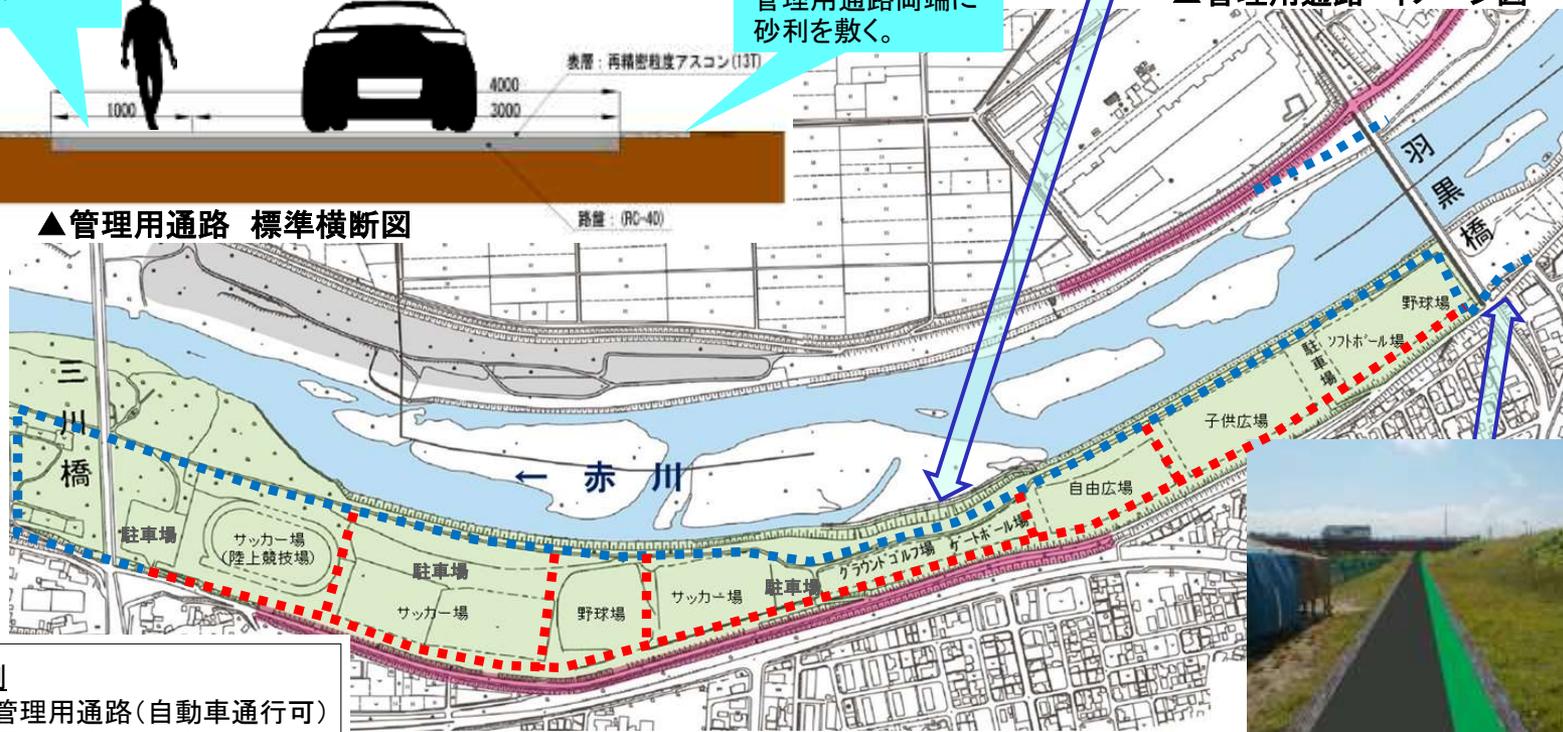
緑ペイント



▲管理用通路 標準横断面

管理用通路両端に砂利を敷く。

▲管理用通路 イメージ図



凡例

- 管理用通路（自動車通行可）
- 園路（自動車通行不可）



▲管理用通路 イメージ図

### 親水護岸

- 親水護岸整備:2箇所
- 護岸幅:①30m ②100m
- 護岸素材:階段コンクリートブロック  
かわへ安全に近づける構造とする
- 動植物の生育生息環境など、体験学習の場として活用



▲①親水護岸 イメージ図



▲②親水護岸 イメージ図



### 階段工

- 階段工：8箇所  
新設＝2箇所 拡幅＝6箇所
- 階段幅：50m
- スポーツ観戦等ができるよう、各グラウンドに配置
- 階段の一部分の段差を緩やかにし、手摺りの設置を検討する。

〈施工前〉



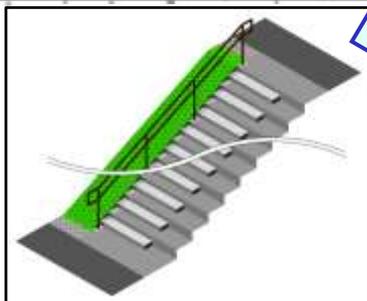
〈施工後〉



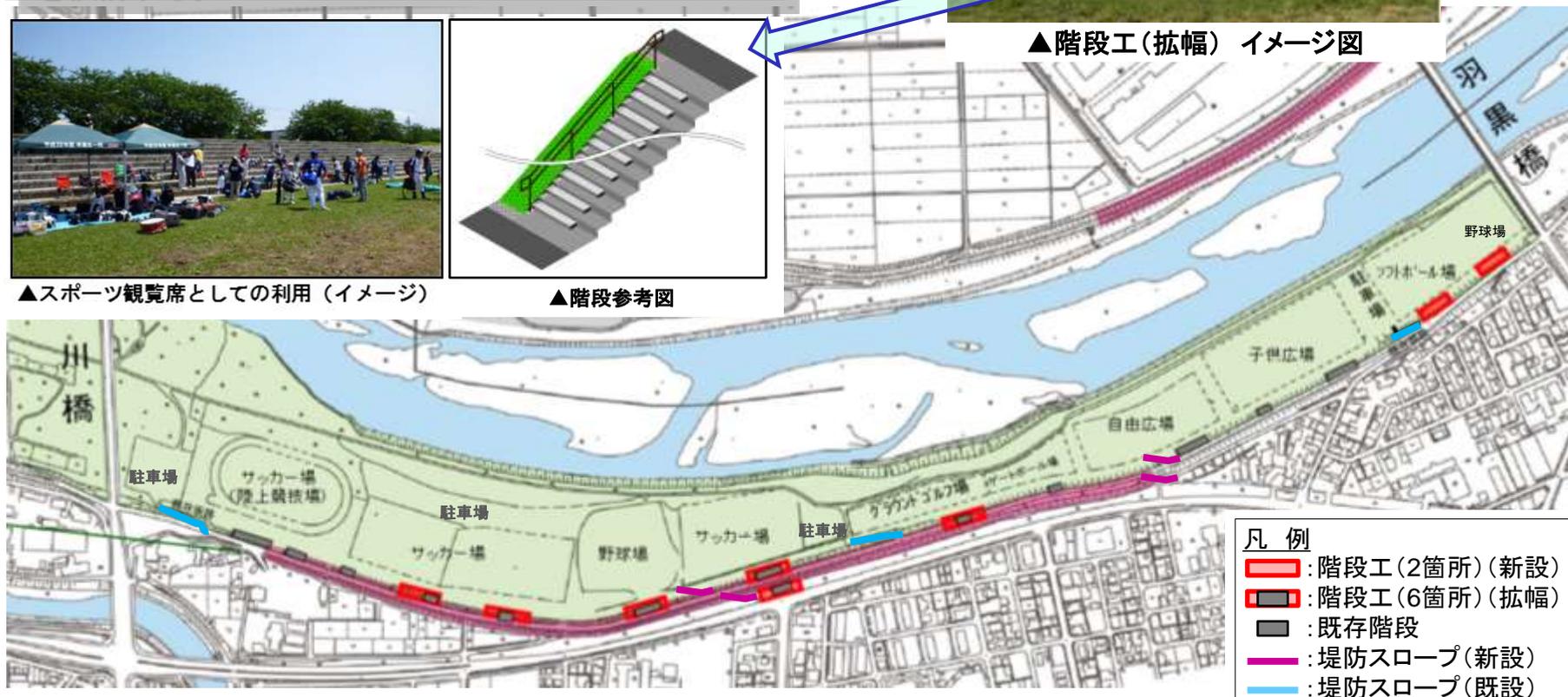
▲階段工(拡幅) イメージ図



▲スポーツ観覧席としての利用（イメージ）



▲階段参考図



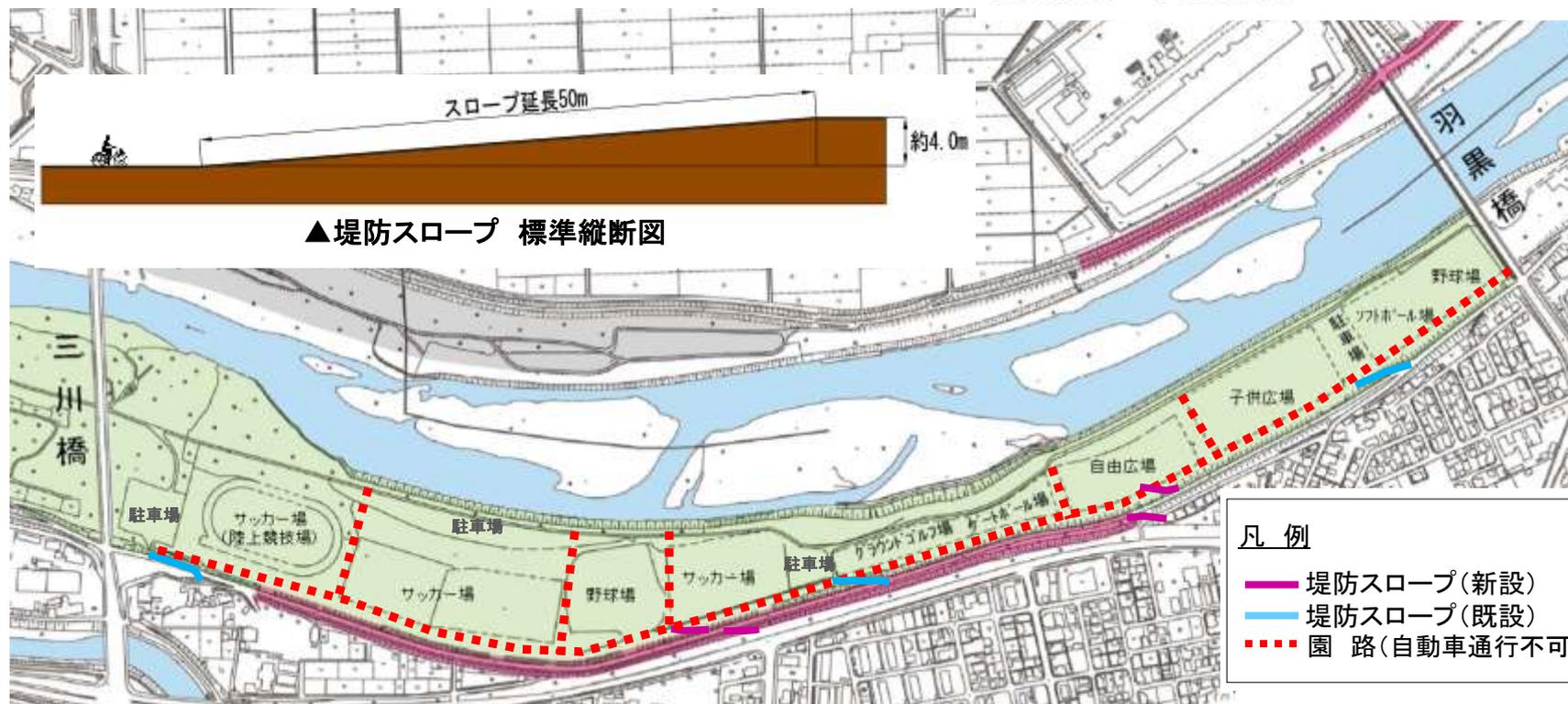
- 凡例
- ：階段工(2箇所)(新設)
  - ：階段工(6箇所)(拡幅)
  - ：既存階段
  - ：堤防スロープ(新設)
  - ：堤防スロープ(既設)

### 堤防スロープ

- 堤防スロープ: 4箇所
- 通路幅: 4.0m
- 舗装形式: アスファルト舗装
- 自転車や電動カート等による河川敷と堤防天端の往来



▲電動カートでの利用



### 進入路拡幅

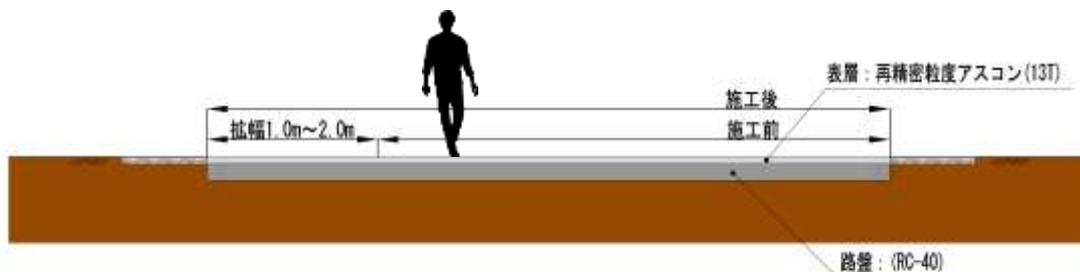
- 進入路拡幅：2箇所
- 拡幅：1.0m~2.0m
- 舗装形式：アスファルト舗装
- 赤川河川緑地への安全性とアクセスの向上



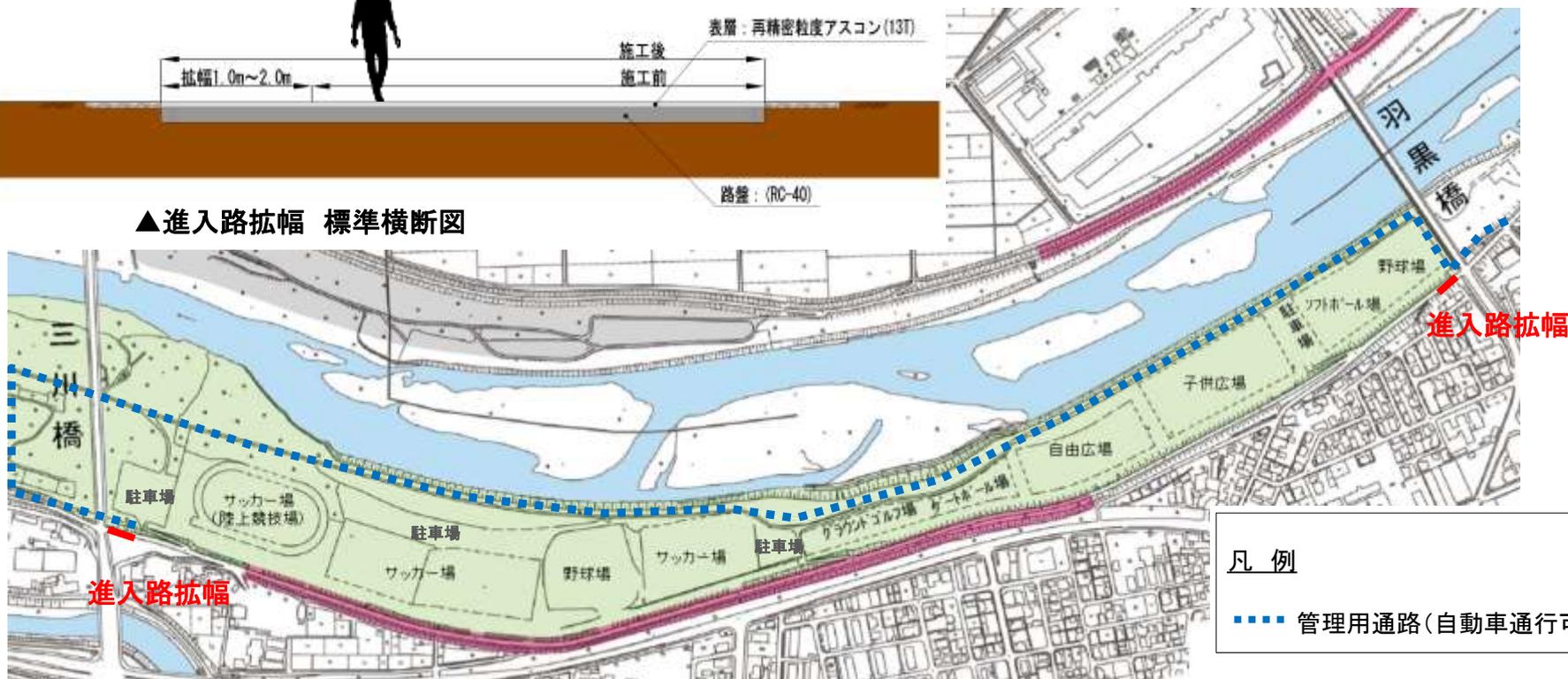
▲ 進入路拡幅(三川橋側)  
イメージ図



▲ 進入路拡幅(羽黒橋側)  
イメージ図



▲ 進入路拡幅 標準横断面図

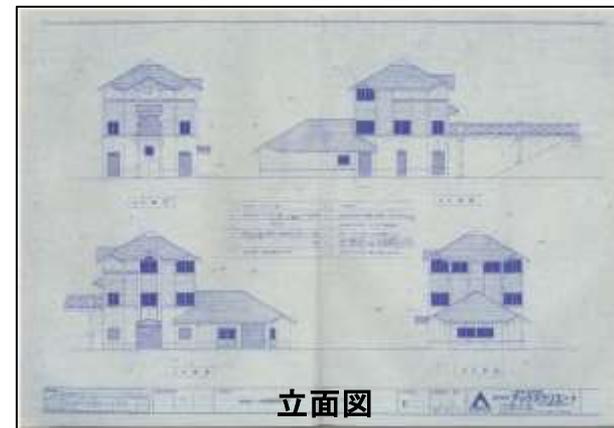


凡例

●●●● 管理用通路(自動車通行可)

## 桜ハウス(利活用)

- 建設 平成6年
- 場所 鶴岡市切添町4-35 地内
- 構造 木造一部鉄筋コンクリート造  
3階建て
- 延床面積 258.80㎡
- 階別面積 1階 146.75㎡ トイレ、水飲場、足洗い場  
用具置場、水防倉庫
- 2階 73.00㎡ 更衣室 2、シャワー室6
- 3階 39.05㎡ 展望バルコニー、会議室
- 木橋 L=12.5m W=2.2m



▲階段



▲洗い場



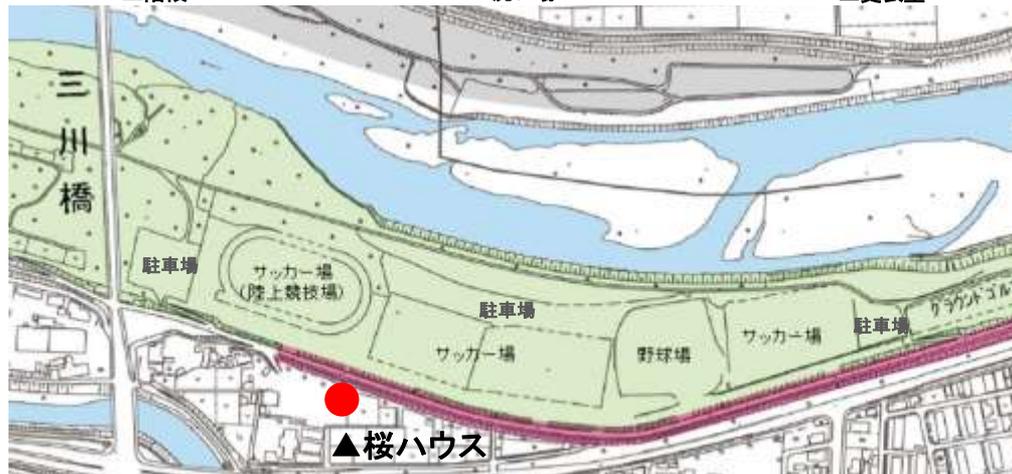
▲更衣室



▲シャワー室



▲シャワー室(個室)



▲桜ハウス

### 《利活用のアイデア》

- 展示場(魚、川の施設紹介や歴史、写真展など)  
※幼児や小学生も対象とした学習施設と大人の交流拠点
- 赤川河川緑地の管理棟(管理人を常駐)
- カフェや物販施設
- 遊び方のルールや赤川治水の歴史等を掲示する。
- 《安全対策》
- 管理人の常駐又は防犯カメラ設置の検討

## 親水エリア(利活用)



▲水遊び（イメージ）



▲水生生物調査（イメージ）



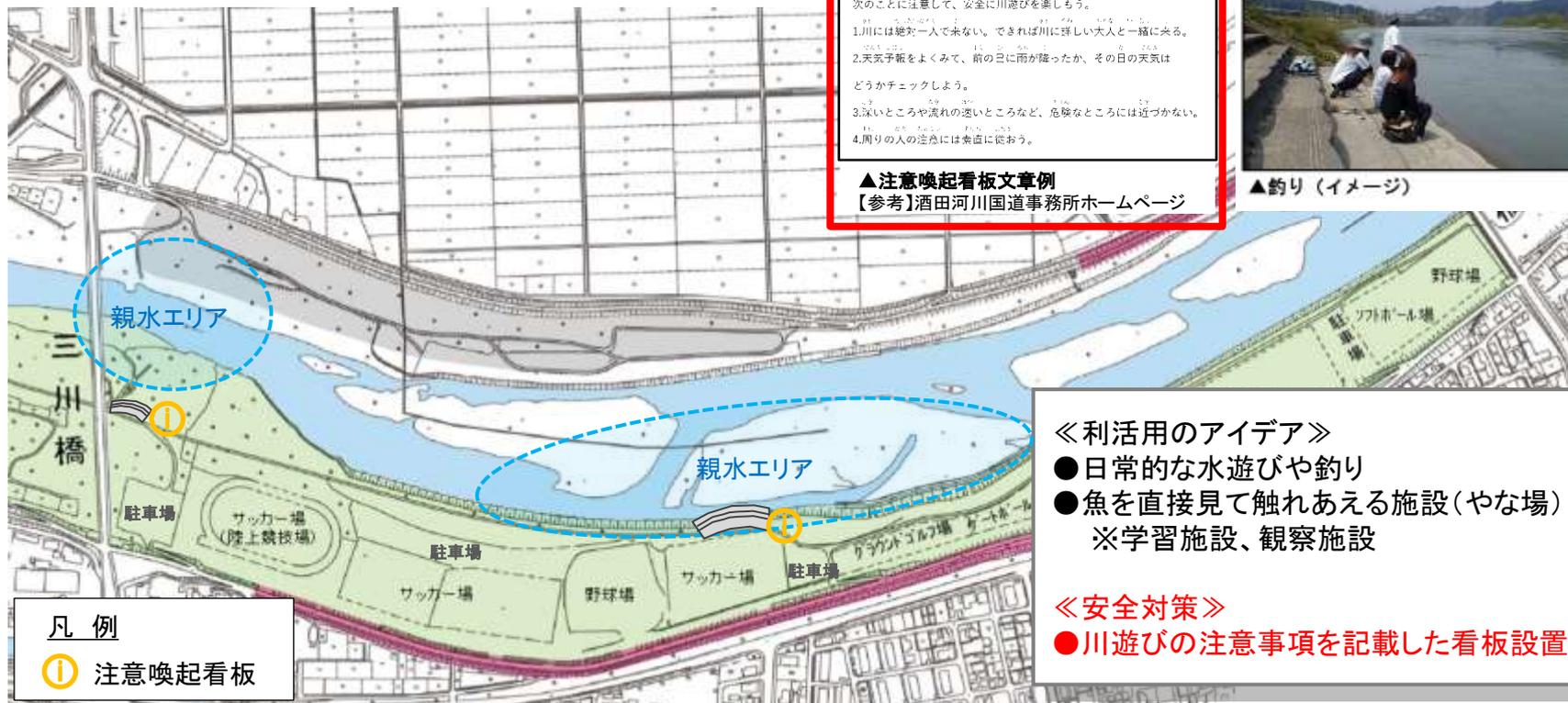
▲魚のつかみとり大会（イメージ）



▲鮭のやな場（H23年頃）



▲釣り（イメージ）



### 安全に遊ぶために

次のことに注意して、安全に川遊びを楽しもう。

- 1.川には絶対一人で来ない。できれば川に詳しい大人と一緒に来る。
- 2.天気予報をよくみて、前の日に雨が降ったか、その日の天気はどうかチェックしよう。
- 3.深いところや流れの速いところなど、危険なところには近づかない。
- 4.周りの人の注意には素直に従おう。

### ▲注意喚起看板文章例

【参考】酒田河川国道事務所ホームページ

### 《利活用のアイデア》

- 日常的な水遊びや釣り
- 魚を直接見て触れあえる施設(やな場)  
※学習施設、観察施設

### 《安全対策》

- 川遊びの注意事項を記載した看板設置を検討

### 凡例

- ① 注意喚起看板

# 利活用・イベントスケジュールについて

◇次年度より事業着手(測量設計)となることから、地域への周知と関心を高め、主体的に利活用する団体等を掘り起こし、利用者を徐々に増やしていくために、できることから試行していく必要がある。

**赤川下流域エリア整備内容**

市整備	
誘導看板	N=3箇所
利用案内看板	N=11箇所
注意喚起看板	N=2箇所
駐車場整備(舗装)	N=3箇所
園路整備(歩行者通路舗装)	L=2,200m
照明灯整備	N=45基(33.3m/箇所)
広場整備(芝生)	N=2箇所
四阿整備	N=2基
ベンチ整備	N=5基
トイレ整備	N=4箇所
水栓整備	N=2箇所
遊具整備	N=9基
レンタサイクル	N=4箇所

**赤川下流域エリア整備内容**

園整備	
河畔整備	A=95,500㎡
管理用通路(遊歩道、散策路)	L=2,800m
親水護岸	L=130m
階段工	N=8箇所 W=50m 新設2箇所 拡幅6箇所
管理用通路(散策路)	L=110m
堤防坂路(スロープ)	N=4箇所(50m/箇所)
進入路拡幅	N=2箇所

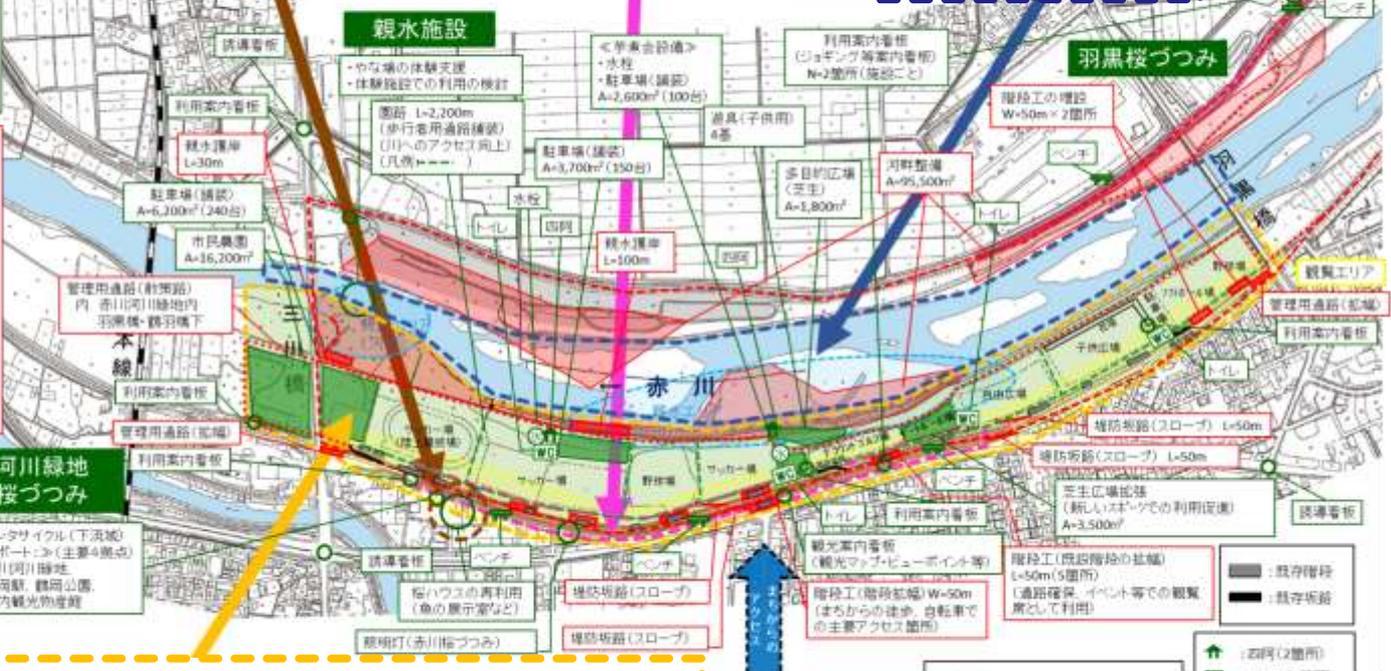
○: 既存のイベント  
●: 新規イベント  
\*: 意見

イベント()内は評価点  
(赤枠は上位評価)

- 桜ハウス**  
【9月】  
●赤川自由研究発表会(6)  
【通年】  
●川の勉強会(5)  
●赤川流域写真コンテスト(1)  
●赤川の歴史の常設展示(0)  
●バーベキュー、キャンプ用品の貸出(17)

- 堤防**  
【4月】  
●赤川桜まつり(50)  
\*堤防を桜でいっぱいにする  
\*桜の種類を増やし、見頃時期を増やす  
\*夜間も桜を見られるよう照明を点灯する

- 親水・河川エリア**  
【5月~11月】  
●川の観察会(0)  
●鮎釣り(8)  
【通年】  
●川の勉強会(7)  
●雑魚(ざっこ)しめ体験会(2)  
\*魚つかみ取り(10)



- 河川敷**  
【4月】  
●赤川桜まつり(50)  
【5月】  
●春の動植物観察会(0)  
【6月】  
●三マラソン大会(12)  
【7月】  
●サマーキャンプ、グランピング(20)  
【8月】  
○赤川火花大会(5)  
●夏の動植物観察会(0)  
●サマーキャンプ、グランピング(20)

- 【9月】  
○フイン祭りの再誘致(6)  
【10月】  
●秋の動植物観察会(0)  
●三マラソン大会(12)  
【11月】  
●芋煮会(34)  
【冬季】  
●冬季スポーツ会場として解放(8)  
(ルディックスキー、スノーモービル、スノートレッキング、かんじきマラソン等)

- 【通年】  
●写真撮影会(0)  
●バーベキューレストラン(5)  
\* イベント募集を周知  
\* 市民からの自発イベントを市が支援  
\* 既存イベントに会場を提供

◇PR⇒赤川かわまちづくりのFacebookの活用

◇イベントの試行⇒赤川社会実験の継続

# 維持管理体制の構築について

◆利活用とあわせて進めることが有効であると考え、維持管理に結びつくイベントの周知と試行を進める。  
 ◆PR⇒赤川かわまちづくりのFacebookの活用 ◆イベントの試行⇒赤川社会実験の継続

**赤川下流域エリア整備内容**

市整備	
誘導看板	N=3箇所
利用案内看板	N=11箇所
注意喚起看板	N=2箇所
駐車場整備(舗装)	N=3箇所
園路整備(歩行者通路舗装)	L=2,200m
照明灯整備	N=45基(33.3m/箇所)
広場整備(芝生)	N=2箇所
四阿整備	N=2基
ベンチ整備	N=5基
トイレ整備	N=4箇所
水栓整備	N=2箇所
遊具整備	N=9基
レンタサイクル	N=4箇所

**赤川下流域エリア整備内容**

園整備	A=95,500㎡
河畔整備	L=2,800m
管理用通路(遊歩道、散策路)	L=130m
親水護岸	N=8箇所 W=50m
階段工	新設2箇所 拡幅6箇所
管理用通路(散策路)	L=110m
堤防坂路(スロープ)	N=4箇所(50m/箇所)
進入路拡幅	N=2箇所

○:既存のイベント  
 ●:新規イベント  
 \*:意見

イベント()内は評価点  
 (赤枠は上位評価)



**桜の保全**  
 【花見時期】  
 ●募金(4)  
 【通年】  
 ●桜のオーナー制度(12)  
 \*羽黒橋側にも桜が欲しい  
 \*空いている部分に桜を植栽希望

**伐採**  
 【4~5月】  
 ●新割り体験会(3)  
 【10~11月】  
 ●伐採競技会(0)  
 ●チェーンソー体験会(12)  
 \*伐採木希望者が最初から行う  
 \*維持管理の参加者への伐採木優先配布は有効  
 \*伐採木を乾燥させるストックエリアが必要

**河川敷の維持管理**  
**景観保全**  
 【通年】  
 ●企業ボランティア(8)  
 ●ボランティアポイント(32)  
 (ポイントメリット例)  
 →関連する道具の提供  
 →花火大会の無料観覧エリアの優先取得  
 ●区画毎の草刈り等(15)  
 \*補助金支給があるとありがたい  
 ●利用者互いの目視による監視(7)

**除草・清掃**  
 【4~6月下旬】  
 ○クリーン作戦(2)  
 【花見時期の前後】  
 ●桜クリーン大会(3)  
 【通年】  
 ●スポーツゴミ拾い大会(30)  
**植栽**  
 【通年】  
 ●桜以外の花や多年草の植栽(4)

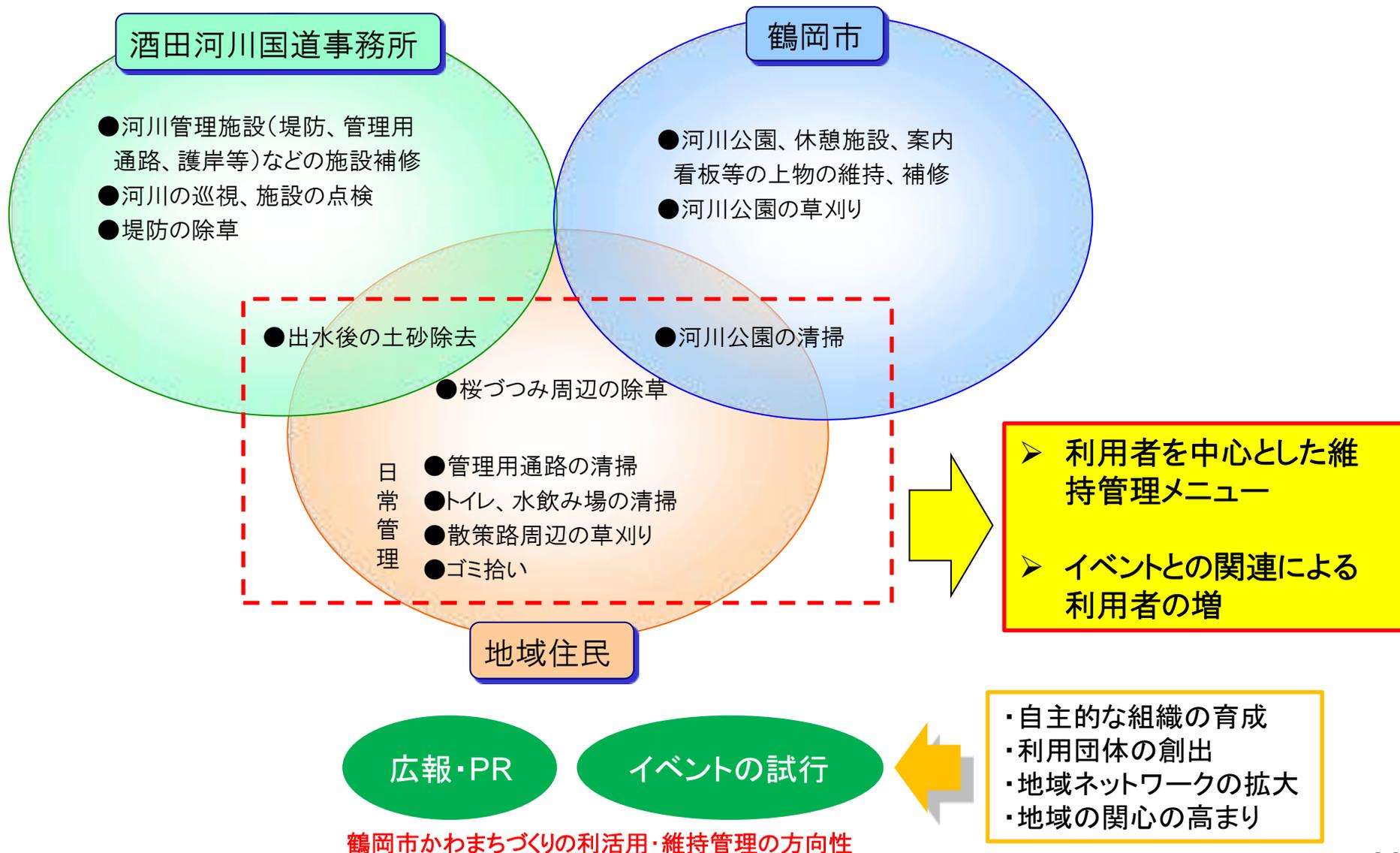
**賑わい**  
 【通年】  
 \*赤川は花火やスポーツ団体利用のイメージが強く、賑わいが見えない →「見える化」が必要  
 ●スポーツゴミ拾い大会(30)

市での整備  
 国での整備

河川整備(かわの見える景観形成)  
 ※動植物の生態・生育環境に配慮しながら実施(現状調査)  
 ※詳細は河川管理者と調整しながら実施

# 利活用・維持管理体制の方向性

## 鶴岡市かわまちづくりの利活用・維持管理の方向性



《参考資料》  
鶴岡市赤川かわまちづくりワークショップ  
意見一覧

# 第1回ワークショップのまとめ (1/7)

No	工種	市民意見			市民意見を踏まえた整備案	
		課題分類	課題内容	改善策、代替案		利活用アイデア
1	園路	位置、幅	①園路以外等の境界がわかりづらい。 ②どの部分が3.5mで舗装されるかわからない。 ③幅は全て3.5mなのか		①スケートボード等の使用可能に ②距離標の設置 ③管理用通路と一体化したトラックコース ④冬季はノルディックスキー	①規格、形式は基本的に原案のままとする ②あくまでも園路として、 <b>歩行者等を優先</b> ③ <b>利用案内看板を設置</b> して、利用者への周知を図る ④取り外し可能な <b>車止めの設置</b>
		舗装形式	①アスファルト舗装は夏場暑い。 ②雨対策は。 ③両端の砂利も経年により草が生えそう。	①カラー舗装 ②屋根付きの場所を増やす。 ③透水性舗装 ④草刈は定期的実施	①花の植栽、景観アップ ②ペイントやクイズ等の仕掛けと看板設置	
		安全対策	① <b>車両の進入</b> があると危険	①取り外し可能な <b>車止めの設置</b>	①国道112号を横断する歩道橋の設置(アクセス向上)	
2	駐車場	位置・面積	①三川橋側に駐車場が片寄り、羽黒橋側に少ない ③これ以上の駐車場は不要。 ②各施設毎の駐車場設置を希望 ③駐車場への導線がわかりづらい ④区画線は全てに必要	①現在の駐車場も舗装して整備 ②羽黒橋下も駐車場として整備 ③自由広場と子供広場の間も駐車場として整備 ④管理用通路を拡幅し、駐車場確保 ⑤ <b>案内看板設置</b> ⑥身障者用駐車スペースも要設置	①駅前とカーシェアリング可能な駐車場設置	① <b>多目的な利用</b> 1.いずれか1箇所の駐車場若しくは駐車場の一部を取り外し可能な車止めやA型バリケードで区切り、別目的で利用(例:端にバスケットゴールを設置し3on3)。 <b>繁忙時のみ「臨時駐車場」とする。</b> 2.内1箇所は <b>碎石舗装</b> で火気使用可とし、事前申請にて芋煮会やバーベキューで利用可とする。 3.消防本部主催の「消防フェスティバル」等、既存のイベントの回数を増やし、赤川河川緑地でも開催してもらえるよう協力を呼びかける。 4.フリーマーケット等の定期開催を関係機関に呼びかける。 5.期間を定め、ラジオ体操の会場にする。 ②全ての駐車場に <b>区画線は必要</b> と思われる。
		複数用途	①「 <b>多目的用途</b> 」の具体策		①音楽フェス開催可能なステージを各駐車場に設置	

# 第1回ワークショップのまとめ (2/7)

No	工種	市民意見			市民意見を踏まえた整備案
		課題分類	課題内容	改善策、代替案 利活用アイデア	
3	広場	位置	①三川橋親水エリア付近にも芝生広場設置 ②三川橋下から管理用通路までの間も広場として整備	①川の近くで危険。安全柵が必要	①浸水した場合を考慮し、 <b>天然芝</b> で整備。 ②安全対策として、多目的広場の東側(川に面している方)は、木杭+ロープで大丈夫か。子供がロープを越えて川へ近づかないか等を要検討し、必要に応じて <b>フェンス設置</b> 。
		用途	①「多目的用途」の具体策 ②パークゴルフ場等の新設 ③多目的広場も天然芝に。	①人工芝の方が管理費安価 ② <b>人工芝</b> まで浸水した場合は、その後の処理 <b>復旧が大変</b>	
4	看板	内容	①看板への記載内容	① <b>施設ごとの案内</b> ② <b>注意喚起</b> の看板 ③ <b>誘導</b> する大きな案内看板	①河川緑地内での <b>駐車場や各グラウンド等の案内看板</b> を設置。 ②赤川へ誘導する大きな看板設置
5	トイレ	数	①土日は全体的個数が不足		①イベント時はその主催者で設置 ② <b>洋便器に変更</b>
		位置	①羽黒橋側の野球場付近にも設置 ②中央部野球場のバックネット付近にも設置		
		衛生面	① <b>衛生面</b> で保護者に不評。 ②移動トイレは使いづらそう。	① <b>車載型</b> の仮設トイレを提供 ② <b>和式</b> のみ。ズボンの汚れや、和式の使い方を知らない子供もいる。	

# 第1回ワークショップのまとめ (3/7)

No	工種	市民意見			市民意見を踏まえた整備案	
		課題分類	課題内容	改善策、代替案		利活用アイデア
6	照明灯	数	①少ない		①3基/100mで配置 ②樹木の影響を考慮しソーラー式ポールタイプ照明灯に変更。 ③設置位置(川表、川裏)は桜側(川裏)とする。	
		規格	①ソーラーではなく風力発電 ②照明下向きではなく、桜のライトアップを兼ねたものに。 ③桜のライトアップは不要。 ④背の低い照明灯もしくは埋込式で、下から照らす。	①小さな風力発電機をつける。 ②ソーラーのままなら、パネル設置位置は桜の枝の影にならないよう低く拡散。		①照明灯を対岸にも設置し、回遊可能なウォーキングコースに。 ②桜のライトアップに利用
		位置	①桜とは反対側に設置。 ②桜つつみ迄ではなく、夜管理用通路へ接続する迄設置。	①グラウンド等の各施設にも照明を設置。夜間利用のニーズに対応。		
7	水栓	数	①少ない。		①テントやベンチの貸し出しを検討。 ⇒管理者が必要	
		位置	①右岸にも設置。 ②親水エリアやグラウンド付近に設置。			
	四阿	数	①少ない。 ②容易に設置可能なものは無いか。	①簡易テントを貸出す。		
		位置	②遊具付近や三川橋下に設置。			
	ベンチ	数	①少ない。	①簡易椅子の貸し出し		
位置		①自由広場や遊具の近くに設置。	①木陰へのベンチ設置			

# 第1回ワークショップのまとめ (4/7)

No	工種	市民意見			市民意見を踏まえた整備案	
		課題分類	課題内容	改善策、代替案		利活用アイデア
8	遊具	数	①河川公園なので遊具不要。			①赤川河川緑地を周遊できるよう、園路沿いや広場に、幅広い世代で利用できる <b>健康遊具</b> を配置。
		種類	①幼児対象の遊具も設置。 ②川へ導くような遊具を選定。	① <b>多くの年代で使用できる遊具</b> の設置	①赤川河川緑地を周遊できる <b>アスレチック</b>	
		位置	①健康遊具はより多点に設置。 ②連れてきた全ての子供が親の視界に入るよう、野球場近く等にも設置。			
		安全対策	①不具合発生時の対応 ②増水時の対応。	①桜ハウスに <b>管理者</b> を常駐。		
9	レンタサイクルポート	動員	①観光客は自転車では川沿いへ行かない。 ②レンタサイクルの利用者1人あたりの <b>平均利用距離(移動限度距離)</b> を析出。 ③ <b>貸し出しの方法</b> はどうするのか。 ④ <b>子供用</b> も配置。	① <b>明確な動機付け</b> (川沿い自転車ロードの設置) ②健康増進を目的としたコースの設定。 ③既存の観光施設(管理者がいる)に配置。 <b>無人</b> のところ(赤川河川緑地等)は <b>電子決済</b> 。	①サイクリングコースの案内を作成。 ①観光者が、 <b>考えているルート</b> を延長できるのか、また、それは <b>移動限度距離</b> の範疇に収まるのか検討。 ② <b>管理方法</b> の検討(管理者設置OR電子決済) ③配置する自転車の種類(子供用も配置)	

# 第1回ワークショップのまとめ (5/7)

No	工種	市民意見			市民意見を踏まえた整備案	
		課題分類	課題内容	改善策、代替案		利活用アイデア
10	河畔整備	伐採量	①各所に1本ずつ残すのは変。 ②景観を考慮し、強弱をつける。	①日陰は必要。	①昆虫採集の為、手付かずの自然も良い。 ②既存の樹木のままとりのままに。 ③橋下にごみの不法投棄が多いので、伐採を進め可視化。 ④右岸も含め、キャンプ等を可能に。 ⑤チェアリングのメッカに。	①当該地の生態系に十分配慮した伐採。 ②やな場・河畔林の動植物の生育生息環境など、水辺環境体験の場としても活用を検討。 ③関係機関やボランティアに協力を依頼し、伐採木を使ったイベントの開催検討。
		底地の扱い	①雑草が繁茂するかも。	①雑草防止のシートを敷設。		
		維持管理	①木はまた生える。	①伐採木の再利用(四阿製作) ②競技、イベント化して管理を継続。		
11	管理用通路	舗装形式	①色や透水性を考慮し、環境となじむ舗装に。		①距離標の設置。	①規格及び形式は、基本的に原案のままとする。
12	親水護岸	動員	①動員方法	①魚釣りイベント ②親水護岸に滝を作る。		①親水護岸の位置の変更 ②看板設置による注意喚起
		安全対策	①設置位置の検討。 ②河道変更も検討。 ③護岸の傾斜を緩やかに。 ④看板設置による注意喚起	①流れが緩やかな部分に設置。 ②護岸周辺の樹木の管理。 ③みお筋(深い箇所)が右岸側に来よう河道変更。		

# 第1回ワークショップのまとめ (6/7)

No	工種	市民意見			市民意見を踏まえた整備案	
		課題分類	課題内容	改善策、代替案		利活用アイデア
13	階段工	位置	①各グラウンドの階段を拡幅。			①車椅子使用者に対する配慮について、要検討。 ②手すりを設置する。
		安全対策	①階段の蹴上を既存のものより低く。 ②手すりを付ける。	①部分的に段差の高低を変えたものを施工。		
14	堤防スロープ	安全対策	①子供がローラースケート等で遊ぶのではないか。			①規格及び形式は、基本的に原案のままとする。
15	進入路拡幅	数	①少ない ②2箇所で十分			②規格及び形式は、基本的に原案のままとする。
		安全対策	①進入路の進行方向 ②各進入路と国道又は県道との交差点で、進行方向によっては渋滞発生。 ③県道からの時間帯右折禁止の解除	①進入路を一方通行にする。 ②交差点に信号機を設置。 ③既存信号機付近に進入路出入口の追加。		
16	桜ハウス	動員	①PR不足 ②+アルファの売りが無ければ行かない。 ③駐車場の整備 ④シャワー等を使用できるまで時間がかかる。 ⑤汚ければ人は来ない。	①案内看板の設置 ②温泉(足湯)の併設 ③売りとなる飲食物の販売 ④遊具のレンタル拠点	①「自然の家」のような宿泊施設にする。 ②写真展等イベント開催。 ③大きめのロッカーを設置し有料クラブハウスに。	①赤川河川緑地の管理事務所としての機能を持たせる。 ②管理人が常駐(通年又は土日のみ等)若しくは出入口等に防犯カメラを設置。
		安全対策	①薄暗い ②安全性の確保	①内装改装 ②全てに手すり設置 ③河川緑地の管理施設として管理人を常駐 ④防犯カメラやAIロボット設置	④高校生にアイデア募集 ⑤川での遊び方のルールや赤川治水の歴史等を掲示する。	

# 第1回ワークショップのまとめ (7/7)

No	工種	市民意見				市民意見を踏まえた整備案
		課題分類	課題内容	改善策、代替案	利活用アイデア	
17	親水エリア	周知	①市民でもやな場の場所を知らない。		①川下り体験 ②誰もが釣りを楽しめるエリアの設置。	①遊び方のルールを記載した看板を立てる。 ②エリア内のゾーニング(川で遊ぶエリア川を眺めるエリア)
		安全対策	①安全に水に近づきたい。 ②危険な場所の周知	①フェンス等で区切る ②その場所の特性を教える看板設置	③魚をその場で食べられるようなキャンプ場を整備 ④学習の場として活用	

# 第2回ワークショップ 整備内容に関する意見

全体を通して、「安全面」に対する声が多くみられた。  
⇒注意喚起看板等のソフト施策を基本として進める

## 【アクセス】

- 羽黒橋及び三川橋から右折入場時のアクセス改善の検討
- 賑わい作りのため、市街地から直接入れるようアクセス改善の検討

## 【河畔整備】

- 右岸羽黒橋付近の伐採は計画しているか  
⇒計画はしているが、実施は生態系への影響を鑑みて行う
- PTA活動等で川へ近づきやすくするため、どのように整備を計画しているか  
⇒三川橋上流の比較的浅い川原付近を想定している

## 【親水護岸】

- ダム放流時の安全確保について、どのように対応予定か  
⇒既存の警報掲示板や注意喚起を図る看板の設置で対応

## 【施設配置】

- 施設は全て可搬のイメージか  
⇒増水時に移動可能なものとなる
- 配置に自由度を持たせてはどうか
- 櫛引総合運動公園との差別化をどのように図るか
- サッカー場を並べるのではなく、キャンプ場等別の用途に整備してはどうか
- 災害時における活用も検討

## 【河川水質】

- 川の水が全体的に濁っている

## 【植栽】

- 右岸に桜の植栽を希望

## 【園路】

- 通行不可に該当する車両はどの範囲か  
⇒堤防側の通路
- スケートボード等は通行不可対象か  
⇒看板等により注意喚起
- 車両通行不可の理由を明確に

## 【照明灯】

- 点灯時間はどのように計画しているか  
⇒深夜帯は消灯する計画
- 一晩中点灯では困る
- サッカー場にナイター照明設置の検討
- 階段部分に足元灯の設置希望

## 【遊具】

- 子供広場や自由広場に子供向け遊具は設置しないのか  
⇒幅広い世代で使える健康遊具で計画している

凡例	
●	園路
●	管理用通路
●	増設スロープ施設
●	増設スロープ施設
●	駐車場
●	広場
●	誘導看板
●	利用案内看板
●	注意喚起看板
●	照明灯
●	遊具
●	WC トイレ(新設)
●	WC トイレ(既設)
●	水
●	樹
●	ベンチ
●	排水溝

青字：整備内容(案)への質問

赤字：整備内容(案)への意見

三川橋

## 【管理用通路】

- 対面通行を考慮すると幅員は狭くないか  
⇒現況の幅員を確保し、必要に応じて待避場所等を確保

## 【堤防坂路】

- 通行の対象は何か  
⇒羽黒橋、三川橋側の坂路は車両と歩行者共用

# 第2回ワークショップ 利活用・イベントに関する意見

○: 既存のイベント

●: 新規のイベント

	イベント内容	主催者	利用者	場所	想定される維持管理
4月	●赤川桜まつり	市、観光協会	地域住民	桜づつみ、多目的広場	例) イベント前の清掃(主催者) イベント後の清掃(参加者)
5月	●春の動植物観察会	PTA有志、愛好家団体	地域住民	赤川河川緑地	
	●川の観察会	赤川自然を守る会(仮)	地域住民	親水護岸周辺	
6月	●ミニマラソン大会	赤川フィットネスエリア協議会(仮)	地域住民、応募者	赤川河川緑地	
7月	●川の観察会	赤川自然を守る会(仮)	地域住民	親水護岸周辺	
	●サマーキャンプ、グランピング	市、企業等	地域住民	多目的広場	
8月	●夏の動植物観察会	PTA有志、愛好家団体	地域住民	赤川河川緑地	
	●サマーキャンプ、グランピング	市	地域住民	多目的広場	
	○赤川花火大会	赤川花火実行委員会	地域住民 観光客	赤川河川緑地	芝・草刈り、清掃
9月	●赤川自由研究発表会	市、教育委員会	児童、地域住民	桜ハウス	
	●川の観察会	赤川自然を守る会(仮)	地域住民	親水護岸周辺	
10月	●秋の動植物観察会	PTA有志、愛好家団体	地域住民	赤川河川緑地	
	●ミニマラソン大会	赤川フィットネスエリア協議会(仮)	地域住民	赤川河川緑地	
想定	●川の勉強会	鶴岡伝承の会(仮) 酒田河川国道事務所	地域住民	桜ハウス 親水護岸周辺	
	●写真撮影会	市、愛好家団体	地域住民	赤川河川緑地	
	●赤川流域写真コンテスト	市、愛好家団体	地域住民、応募者	桜ハウス	

『桜』『水辺』『冬期間』の利用にかかる意見が多く見受けられた。  
⇒本日の意見交換においても実現性等について議論

## ■桜ハウス利活用への意見

- キャンプ用品の貸出をする

## ■河川敷の利活用への意見

【秋季】

- 芋煮会
- ワイン祭りの再誘致

【冬季】

- 冬季スポーツ会場として解放  
(ノルディックスキー、スノーモービル、スノートレッキング、かんじきマラソン等)
- 市主催、自治会後援にて雪下ろしツアー
- 利用するなら駐車場の除雪が必要
- 雪捨て場である右岸の雪を利用できないか

【通年】

- 「ポケモンGO」(スマートフォンのGPS機能を活用したゲーム)のポケストップ(道具等の入手可能場所)に登録申請等、子供が来られる仕組みを作る
- イベント募集を周知
- 市民からの自発イベントを市が支援
- 既存イベントの会場を提供
- 日常及び授業で子供が利用できるような環境整備
- 子供が体験・経験をし、将来自分の子供を連れてくるよう、遊ぶことの後押しが大切
- 水辺の技術や昔の遊びの紹介及び伝承
- エコ関連として、自転車来場や風車使用でポイント進呈
- 魅力のある食が無ければ人は来ない

## ■堤防の利活用への意見

【桜】

- 堤防を桜でいっぱいにする
- 桜の種類を増やし、見頃時期を増やす
- 夜間も桜を見られるよう照明を点灯する

【整備方針】

- 堤防を車ですれ違えるよう拡幅し、車両通行可にする

## ■親水エリア・河川エリアの利活用への意見

【鮎釣り】

- 「天然」でPRしない
- 県外の人をターゲットにする
- 川をきれいにする

【鮭釣り】

- 鮭釣りできるよう、調査目的や理由等を工夫する

【魚つかみ取り】

- エリアを決めず、つかみ取り可能にする

【渡河】

- 子供・親子で川を渡れるようにする

【イベント】

- 「砂金が取れるかも」等の幅広い情報提供
- 水陸両用バスを榊引総合運動公園まで運行

# 第2回ワークショップ 維持管理体制に関する意見

ボランティア活動に対する『メリットが必要』との声が多く見受けられた。  
⇒本日の意見交換においても実現性等について議論

項目	管理方法	主催者	参加者	時期	場所	メリット
除草 清掃	○グリーン作戦	・社会人サッカーリーグ ・シアリフトホール	競技者	4月～ 6月下旬	赤川河川緑地	維持管理に対する意識の向上
	●スポーツゴミ 拾い大会	自治体、企業等	地域住民	通年	赤川河川緑地	・上位チームの表彰(特典付) ・HPでの公表
	●桜クリーン大 会	鶴岡桜の会	地域住民	花見時期の前後	赤川河川緑地	・HPでの公表
伐採	●伐採競技会 ●チェーンソー 体験会	市	・地域住民 ・伐採木の選定は、 管理者が行う	10～11月	赤川河川緑地 中州	・HPでの公表 ・芋煮やバーベキュー用の薪として、 優先配布する
	●薪割り体験会	市	地域住民	4～5月	赤川河川緑地 中州	・HPでの公表 ・芋煮やバーベキュー用の薪として、 優先配布する
景観保全	●企業ボラン ティア	企業、各種団体等	参加企業、 各種団体	通年	赤川河川緑地	・HPでの公表 ・表彰 ・パンフレット等への企業名掲載
	●ボランティア ポイント	市	地域住民	通年	赤川河川緑地	・HPでの公表 ・表彰 ・一定ポイントにて市施設を無料利用 ・赤川花火大会実行委員会と協力可 能なら、無料観覧エリアを優先取得 ・商工会議所等との連携により、ポイン トにて買物
	●利用者の目 視	赤川フィットネスエリア協 議会(仮)	ランナー、健康遊 具使用者、地域 住民	通年	赤川河川緑地	・通常利用しながら監視 ・登録により運動指導を受けられる
	●区画毎の草 刈り等	市	町内会、町子供 会	通年	赤川河川緑地	・表彰 ・特別補助金等
桜の保全	●桜のオーナー 制度	市	地域住民	通年	桜づつみほか	・優先駐車場 ・名札設置 ・記念品贈呈
	●募金	鶴岡桜の会	地域住民	花見時期	桜づつみ 桜ハウス	・労働面で協力難しい人も資金面で協 力できる ・優先駐車場 ・名札設置 ・記念品贈呈

○: 既存のイベント

●: 新規のイベント

## ■河川敷の維持管理について

### 【伐採】

- 伐採木希望者が最初から行う
- 維持管理の参加者への伐採木優先配布は有効
- 伐採木を乾燥させるストックエリアが必要

## ■堤防の維持管理について

### 【植栽】

- 羽黒橋側にも桜が欲しい
- 空いている部分に桜を植栽してほしい

## ■河川敷の維持管理について

### 【景観保全】

- 赤川下流域エリアの特徴を持たせた方がよいのではないかと
- 維持管理に家族で取り組めるようなイベントの仕掛けづくりが必要  
→ポイントがたまるようにしてはどうか
- ボランティアポイントの導入  
(ポイントメリット例)  
→「野球チームには野球のボール」等、関連する道具の提供  
→花火大会の無料観覧エリアの優先取得  
※ボランティア活動時期とメリット享受時期とに時差がある場合、  
ボランティア実績を証明する物が必要
- 区画毎のボランティア作業の場合、補助金支給
- グラウンドゴルフ場は会員が管理  
→面白みのあるコース設定にて利用促進【除草・清掃】
- 三川橋側は雑草が生え不陸 ←サッカーリーグだけの管理難
- 利用料無料のため、占用している利用者が主に管理してはどうか
- 草刈の所管はどこか
- 堤防の草を活用する場合の利点は何か
- ごみ箱設置の計画の有無は
- サッカー等の相手をしてくれる人が、維持管理しながら常駐してはどうか
- 【植栽】
- 桜以外の花や多年草の植栽
- 【賑わい】
- 赤川は花火やスポーツ団体利用のイメージが強く、賑わいが見えない  
→「見える化」が必要

# 第3回ワークショップ意見まとめ

ワークショップでは、これまでに提案された「利活用・イベント」及び「維持管理体制」のアイデアを提示し、実現できそうなイベントや維持管理体制について1位～5位のランク付をしてもらい、1位＝5点、2位＝4点、3位＝3点、4位＝2点、5位＝1点と点数化した。

※各案のうち、冒頭に〈既〉の有るものは既存イベント。無いものは新規イベント案。

## ■利活用、イベント(案)評価表

場所	月	イベント(案)	総得点	意見・コメント
河川敷	1	たこあげ	0	
	4	赤川桜まつり	28	既存の資源を生かす 複数の種類の桜を植栽することにより見頃を長くし、「日本さくら名所100選」入選を目指す
	5	こいのぼり	0	
		春の動植物観察会	0	
	6	ミニマラソン大会(6月、10月)	12	子供たちと走りたい 冬にも開催可能ではないか エリア全体で人出を見込める ゲストランナーを呼べばマスコミに取り上げてもらえ、人が集まり、赤川の宣伝にもなる
	7	サマーキャンプ、グランピング(～8月)	20	季節感があって楽しい 子供と安全に遊べるキャンプを 親子連れの利用を見込める 手ぶらで来て楽しめるのはありがたい 婚活イベントにも転用可 グランピングの業者は公募
	8	〈既〉赤川花火大会	5	人手を見込める
		夏の動植物観察会	0	
	9	ワイン祭り	6	市民に人気のイベント 「ワイン＋焼肉」などで火気使用可をアピールし、再来訪につなげる 各方面から、河川敷での開催が良い、という声が上がっている
	10	秋の動植物観察会	0	「食」のイベントで人を呼び込む

# 第3回ワークショップ意見まとめ

## ■利活用、イベント(案)評価表

場所	月	イベント(案)	総得点	意見・コメント
河川敷	11	芋煮会	34	問合せ先を記載した案内看板を設置すれば、問合せが増えて使いやすくなるのではないかと
				庄内での定番
				鶴岡版鍋太郎(大鍋での芋煮会)で赤川をPRできるのではないかと →主催は市観光課か?
				芋煮会を事業化してはどうか
	12	冬季スポーツ会場として解放	8	冬の楽しいこと(ノルディックスキー、冬の運動会等)の開催
				堤防の傾斜を利用してソリ遊びも可能 右岸に雪山をつくり子供を遊ばせてはどうか
	通年	写真撮影会	0	無料での開催希望
バーベキューレストラン		5		
子供が将来自分の子供を連れてくるよう、体験・経験・遊ぶことの後押し		0	親子で楽しめる	
-		-	(全体)ビール等の販売があるとありがたい	
	-	-	(全体)親子で遊べるイベントが欲しい	
親水エリア・河川エリア	5	稚魚の放流	5	今はされていない
	7	川の観察会(7月、9月)	0	
		鮎釣り(~10月)	11	漁協として魚の準備が大変 子供たちはやりたい 魚釣りは子供も楽しい
	11	鮭釣り	8	秋口に稚魚の放流を行い、世代間交流しながら釣りを楽しむ
	通年	川の勉強会	7	
		雑魚(ざっこ)しめ体験会	2	個人ではやらなくなったので、イベント開催を希望 軍手や救命胴衣等の準備が大変なので、組合としては今は行っていない →クリアできれば可能ではないか
		魚つかみ取り	10	赤川流域の魚は天然 軍手や救命胴衣等の準備が大変
		-	-	(全体)各世代で「かわ」への関心を高める
		-	-	(全体)「子供:放流 大人:釣り 協会:調査」のサイクルを回す
		-	-	(全体)有料イベントをなるべく無料で開催してほしい

# 第3回ワークショップ意見まとめ

## ■利活用、イベント(案)評価表

場所	月	イベント(案)	総得点	意見・コメント
堤防	4	赤川桜まつり	22	右岸の桜を増やす 両岸バランス良く桜を増やす 桜並木は延長が長く、人手を見込める かつては桜の時期に遠足があった 夜桜が綺麗 「日本さくら名所100選」入選を目指す
	通年	堤防天端幅を拡幅し車両通行可にし、すれ違えるようにする	0	「見える化」につながり、もっと関心が出る
		-	-	紅葉エリアの造成検討
桜ハウス	9	赤川自由研究発表会	6	
	通年	川の勉強会	5	川について学び危険箇所を知ること大切 川に親しむステップになる
		赤川流域写真コンテスト	1	写真はInstagramでの拡散を見込め、影響大
		赤川の歴史の常設展示	0	
		バーベキューセット・キャンプ用品の貸出	17	子供連れに助かる セット貸出は魅力的 業者を公募し芋煮セットの貸出もしてはどうか

# 第3回ワークショップ意見まとめ

## ■維持管理体制(案)評価表

内容	月	維持管理方法(案)	総得点	意見・コメント	
河川敷	環境保全	企業ボランティア	8	企業に期待しながら市民も清掃する	
				事前に区画を決めるのではなく、適時に適切な場所に対応できるようにするほうが、全体的に綺麗になるのではないか。	
		通年	ボランティアポイント	32	ポイント制でボランティアを募る
					団体参加も可能
					花火大会の無料観覧エリアを優先取得できれば大変魅力的。相当数集まるのではないか。
					期待大
					利用者やイベント主催者とのタイアップによりポイント(景品)付与できるのはいいか
	市民募金を募り、ボランティアポイントに充てる。但しバランスを工夫する。				
	ポイントの検討項目として、部活動の道具や商店街の割引等				
	ボランティアは、どの程度の見返りが適正か				
		区画毎の草刈り等	15		
		利用者互いの目視による監視	7		
除草・清掃	4~6	〈既〉クリーン作戦	2	花火前と10月頃の年2回必要ではないか	
				清掃にもインセンティブを検討したらどうか	
	花見時期の前後	桜クリーン大会	3		
		スポーツゴミ拾い大会	30	全国規模で行われている様子。誘致し、赤川にて実現可能か。	
	通年	管理人の常駐	1		
植栽	通年	桜以外の花や多年草の植栽	4	桜以外も有れば、観光ポイントになる	
伐採	4~5	薪割り体験会	3	開催時期を芋煮会の時期にあわせてはどうか 非日常の体験ができる	
	10~11	伐採競技会	0	支障木伐採を、花火大会を主催する青年会議所等と連携する	

# 第3回ワークショップ意見まとめ

## ■維持管理体制(案)評価表

内容	月	維持管理方法(案)	総得点	意見・コメント	
伐採	10~11	チェーンソー体験会	12	山に行かなくてもチェーンソー体験できるのは素晴らしい	
				チェーンソーアートも盛り上がるのではないかと	
				芋煮の薪にしてはどうか	
				自然に親しめる	
				チェーンソー、のこぎり、斧等いずれも体験会を展開できる	
				講習と伐採木処分を合わせて行える	
桜	花見時期	募金	4		
	通年	桜のオーナー制度	12	オーナーになった人は見に来るため、賑わいが出る あまり目立たないところに名札を付ける 記念植樹は、子供の誕生時等に有効 記念植樹の場合、生長時の間引きにはどのように対応するかが課題	
整備内容	園路	園路は車両通行不可	-	安全確保のため	
		一方通行でも良いので堤防天端を車両通行可にする	-	「見える化」につながり、もっと人が来るのではないかと 歩道と車道を明確に分ける	
	照明灯	-	-	キャンピングカー駐車時、電源を照明灯から取れるのか	
	広場整備	-	-	サッカー場の内1つを天然芝の高規格サッカー場にする	
	トイレ	-	-	いたずらされた際の修復が早いものを採用してほしい	
	遊具設備	-	-	健康遊具やウォーキングで人を増やす	
	河畔整備	-	-	-	河道内が攪乱し、ゴミ、藻により水質悪化している
		-	-	-	川を綺麗にし、魚を呼び込み、生き物と触れあえるように
		-	-	-	魚を放流すると、管理に問題が出るのではないかと
		-	-	-	放流後に戻ってくる鮭0.6%程度しかいない。密漁対策をどうするか
親水護岸	-	-	稚魚の放流等で使いやすいよう、護岸幅を広めにしてほしい		
階段工	-	-	球技会場に観覧席があれば		
進入路	-	-	ゴミが多く、監視が必要		